

# 1. 特集

## コロナ禍における観光旅行に対する意識・実態

今回も前回（第40回）、前々回（第39回）に引き続き、新型コロナウイルス感染症が人々の観光旅行に対する意識や行動にどのような影響を与えているのかについて調査した。今回で3回目の調査となるため、過去調査との比較を中心に分析し、コロナ禍の中での変化についても注目している。また、今後1年の宿泊観光旅行に対する希望についても、過去の結果や今年度の実績と比較し、今後のコロナ禍における観光動向を分析した。

### ◆結果のポイント◆

#### 1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

令和3年度の宿泊観光旅行では6割以上が割引キャンペーンを利用していない  
自治体が行っているキャンペーンの利用率は、居住地による差が大きい

#### 2. 割引キャンペーンの今後の利用予定・意向

2年連続して、Go To トラベルキャンペーンの利用希望が3割以上  
割引キャンペーンを利用せずに旅行するという割合が前回より増加

#### 3. コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化

半数以上がコロナ禍を通して観光旅行に対する思いの変化を感じている  
もともとの旅行に対する好みにより、変化の方向性が異なる

#### 4. コロナ禍の旅行での人との関わり

前回に引き続き、旅行先では必要最低限の関わりに抑えたいという人が半数以上  
10代では、積極的な人との関わりを求める割合が比較的高い

#### 5. コロナ禍の旅行で必要な情報および入手ルート

必要な情報のトップ3は、観光地、宿泊施設、交通機関の混雑状況  
入手ルートは自治体等の公式サイトが多いが、私的ルートも増加傾向

#### 6. オンライン旅行体験への参加

オンライン旅行体験参加者は2.6%で、前年度から大きな変化なし  
現実の旅行の代替ではなく、オンライン旅行そのものを楽しむ人が増加傾向

#### 7. ワークーションの実態と志向

ワークーションの体験者は1%程度と、依然として低水準  
そもそもワークーションに臨める環境にある人が少ない

#### 8. 今後の宿泊観光旅行への希望

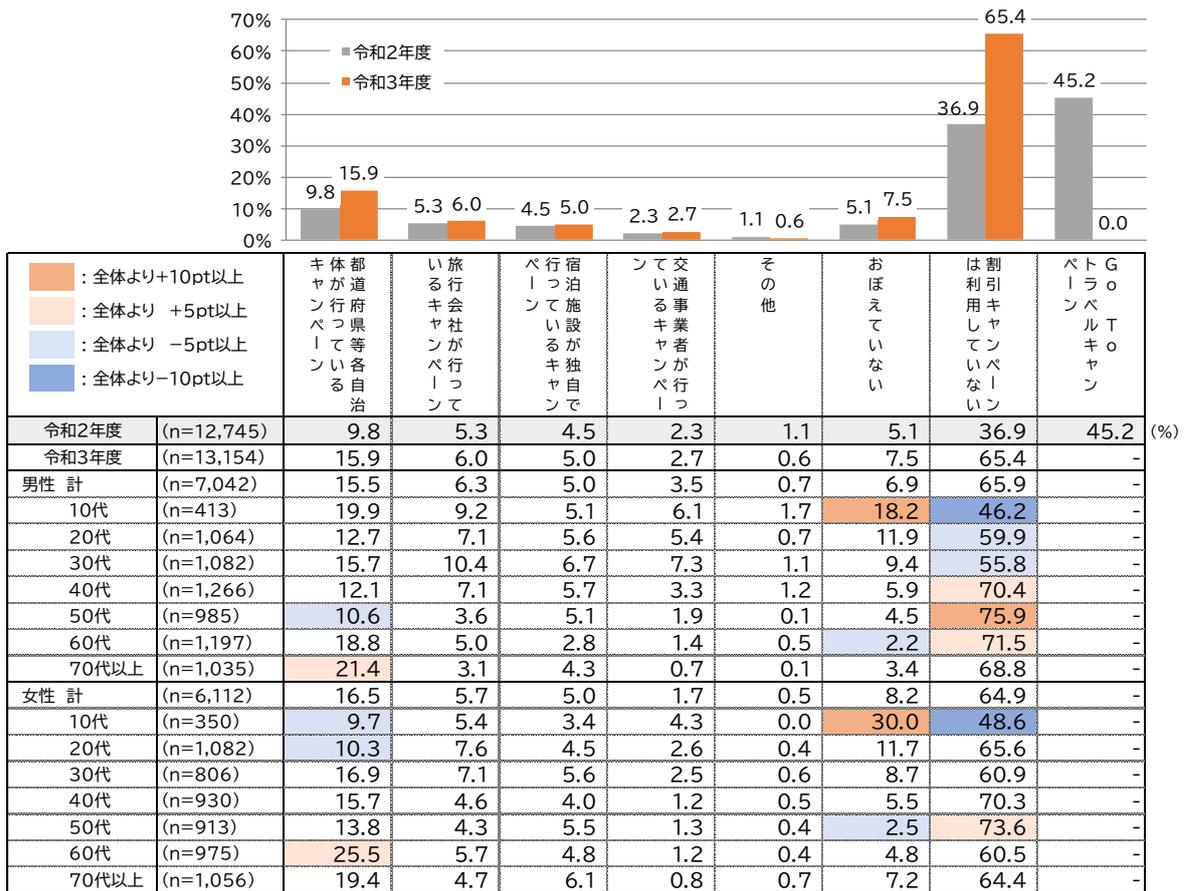
宿泊観光旅行への参加希望率は前回よりも増加し58.7%  
希望する旅行先は、コロナ禍前に比べて居住地域内が増加

## 1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月までの1年間）の国内宿泊観光旅行において、各種割引キャンペーンを利用したかどうか尋ねたところ、すべての宿泊観光旅行のうち65.4%と半数以上が「割引キャンペーンは利用していない」という結果となった。令和2年度では「Go To トラベルキャンペーン」が45.2%で最も多く、割引キャンペーンを利用していない人は4割に満たなかったが、当該キャンペーンが実施されなかった令和3年度においては、割引を利用せずに宿泊観光旅行をした人が多くなっている。

令和3年度に利用された割引キャンペーンとして最も多かったのは「都道府県等各自体が行っているキャンペーン」で15.9%となっている。こちらは令和2年度と比較して6.1ポイント増加しており、他のキャンペーンに比べて増加幅が大きい。また、男性70代以上、女性60代における利用者の割合が、他の年代に比べて高くなっている。

図表1-1:各種割引キャンペーンの利用状況



※「Go To トラベルキャンペーン」の選択肢は令和2年度のみ。

居住都道府県別にみると、山形県（48.8%）や富山県（47.5%）、石川県（47.5%）、新潟県（47.2%）、岩手県（46.6%）では、「都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン」の利用率が4割以上と高い。一方、愛媛県（5.3%）、埼玉県（6.5%）のように利用率が1割に満たない県もあり、居住地による差が大きい。また、「割引キャンペーンは利用していない」は、東京都（75.6%）や大阪府（76.3%）などの大都市圏や愛媛県（77.3%）などで多くなっている。

図表1-2: 居住都道府県別 割引キャンペーンの利用状況

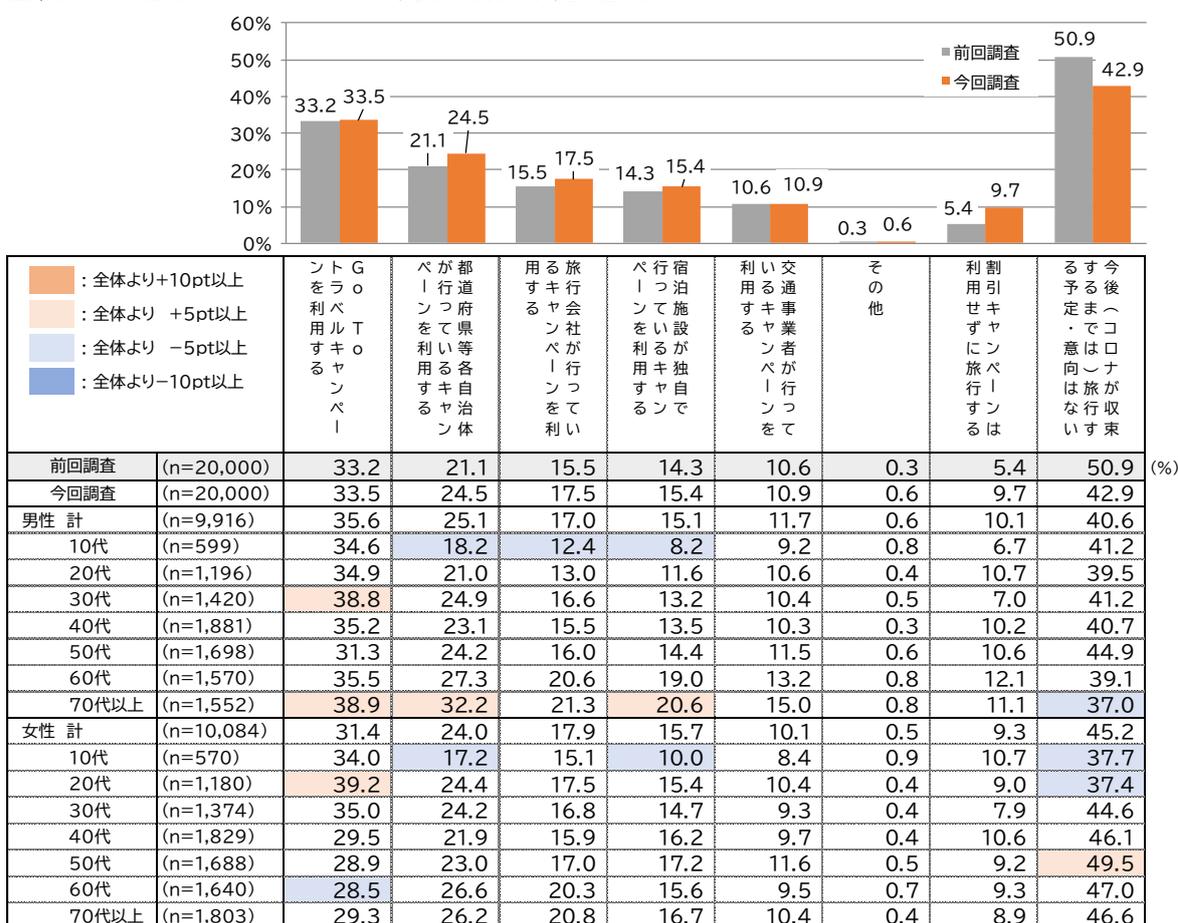
		る治都 キ体道 ヤが府 ン行県 パっ等 て各 ン自	パて旅 ーい ン行 る会 ン社 キが ン行 っ	キで宿 ヤ行泊 ンつ施 パっ設 ーい ンが ン独 自	ン行交 パっ通 ーて事 ン業 行者 業が 者キ がヤ	そ 他	お ぼ え て い な い	な ン割 いは 引利 キ用 ヤ ン し て べ い	(%)
全体	(n=13,154)	15.9	6.0	5.0	2.7	0.6	7.5	65.4	
北海道	(n=569)	24.8	5.8	7.6	2.5	0.2	7.4	56.9	
青森県	(n=118)	33.1	6.8	0.8	1.7	1.7	5.1	52.5	
岩手県	(n=133)	46.6	0.0	2.3	0.0	0.0	7.5	45.1	
宮城県	(n=214)	26.2	5.6	6.1	0.9	0.9	4.7	59.3	
秋田県	(n=81)	37.0	14.8	9.9	4.9	2.5	6.2	30.9	
山形県	(n=84)	48.8	3.6	2.4	6.0	0.0	2.4	36.9	
福島県	(n=146)	28.8	2.7	5.5	1.4	0.0	7.5	55.5	
茨城県	(n=288)	13.2	5.2	2.8	1.7	0.3	4.9	72.9	
栃木県	(n=229)	18.3	7.9	9.2	2.6	0.4	2.2	62.4	
群馬県	(n=182)	31.3	2.2	4.4	7.7	0.5	3.3	54.9	
埼玉県	(n=738)	6.5	7.3	4.2	2.8	0.3	8.5	73.2	
千葉県	(n=638)	7.7	7.4	3.1	3.1	0.3	7.7	71.6	
東京都	(n=1,841)	6.7	5.5	5.5	2.8	0.3	6.0	75.8	
神奈川県	(n=1,112)	11.3	6.1	4.5	3.5	1.1	8.8	68.2	
新潟県	(n=195)	47.2	8.2	4.6	1.5	0.0	4.1	39.0	
富山県	(n=80)	47.5	0.0	1.3	3.8	0.0	8.8	42.5	
石川県	(n=99)	47.5	9.1	4.0	6.1	0.0	6.1	32.3	
福井県	(n=76)	23.7	2.6	3.9	1.3	5.3	10.5	52.6	
山梨県	(n=102)	18.6	2.9	3.9	0.0	1.0	12.7	60.8	
長野県	(n=217)	24.4	13.8	5.5	3.2	1.4	1.8	52.1	
岐阜県	(n=173)	19.1	12.7	6.4	4.6	0.6	11.6	54.9	
静岡県	(n=421)	21.6	2.9	4.0	0.2	1.2	8.1	64.1	
愛知県	(n=871)	10.9	5.4	6.4	2.5	0.3	10.0	67.4	
三重県	(n=169)	24.9	4.1	10.1	1.8	0.0	5.3	56.2	
滋賀県	(n=177)	11.3	10.7	5.6	0.0	0.0	7.9	64.4	
京都府	(n=237)	14.3	9.7	5.1	3.0	0.8	3.4	69.2	
大阪府	(n=1,064)	7.8	5.0	4.2	2.8	0.7	6.7	76.3	
兵庫県	(n=622)	16.6	5.8	4.7	3.9	1.0	7.6	64.6	
奈良県	(n=181)	8.3	6.6	3.3	2.8	0.6	8.8	70.2	
和歌山県	(n=94)	17.0	4.3	1.1	1.1	1.1	16.0	59.6	
鳥取県	(n=30)	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	66.7	
島根県	(n=32)	28.1	9.4	9.4	6.3	0.0	9.4	37.5	
岡山県	(n=157)	19.7	1.3	1.9	0.6	0.0	7.6	69.4	
広島県	(n=221)	10.0	6.3	3.2	2.7	0.5	12.2	68.3	
山口県	(n=88)	33.0	1.1	2.3	0.0	1.1	5.7	59.1	
徳島県	(n=64)	7.8	3.1	3.1	4.7	0.0	10.9	75.0	
香川県	(n=60)	18.3	3.3	5.0	0.0	0.0	3.3	70.0	
愛媛県	(n=75)	5.3	2.7	8.0	4.0	0.0	2.7	77.3	
高知県	(n=60)	16.7	16.7	6.7	5.0	1.7	8.3	56.7	
福岡県	(n=514)	16.7	6.4	5.3	1.6	0.6	11.3	60.9	
佐賀県	(n=52)	34.6	15.4	9.6	5.8	1.9	5.8	36.5	
長崎県	(n=115)	35.7	16.5	7.0	0.9	0.0	13.0	39.1	
熊本県	(n=179)	24.0	5.6	3.4	2.2	0.0	6.7	60.9	
大分県	(n=76)	28.9	1.3	6.6	1.3	2.6	0.0	63.2	
宮崎県	(n=87)	24.1	1.1	14.9	1.1	0.0	18.4	43.7	
鹿児島県	(n=98)	31.6	7.1	6.1	5.1	0.0	4.1	58.2	
沖縄県	(n=95)	12.6	1.1	3.2	5.3	4.2	12.6	62.1	

## 2. 割引キャンペーンの今後の利用予定・意向

今後の国内宿泊観光旅行における各種割引キャンペーンの利用予定・意向を尋ねたところ（各キャンペーンの実施を想定し回答）、旅行意向がある人においては、「Go To トラベルキャンペーン」の利用希望が 33.5%で最も多かった。男性ではすべての年代で3割を超えているが、女性の40代以上では希望率は3割未満となっている。その他すべてのキャンペーンにおいて、前回調査に比べて、利用予定・意向の割合が高くなっており、「都道府県等各自治体が行っているキャンペーン」の増加幅がやや大きい。一方で、「割引キャンペーンは利用せずに旅行する」も前回より4.3ポイント増加している。

また、「今後（コロナが収束するまでは）旅行する予定・意向はない」の割合は8.0ポイント減少しており、旅行参加に対する気持ちの変化がうかがえる。

図表1-3: 割引キャンペーンの今後の利用予定・意向

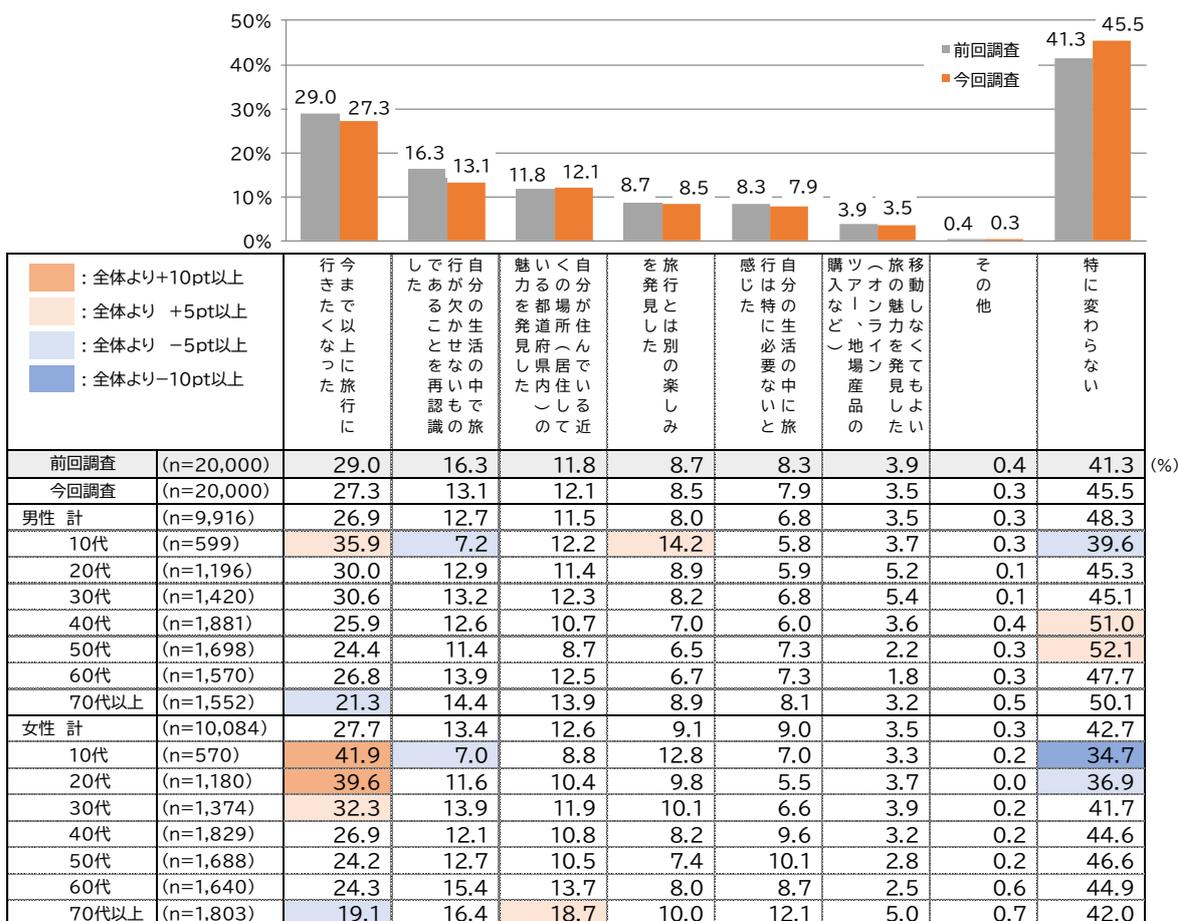


### 3. コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化

コロナ禍で旅行に対する思いの変化や気づきがあったか尋ねたところ、「特に変わらない」が45.5%で、半数近くの人には旅行に対する思いの変化はないという結果となった。一方、何らかの変化があった人においては、「今まで以上に旅行に行きたくなった」が27.3%で最も多い。男性では10代、女性では10～30代の若い世代で特に割合が高くなっている。また、前回調査と比較して、大きな変化は見られなかった。

もともとの旅行に対する好み別に思いの変化をみると、旅行が好きな人は「今まで以上に旅行に行きたくなった」(38.1%)や「自分の生活の中で旅行が欠かせないものであることを再認識した」(19.0%)という回答が多く、コロナ禍を通して、何らかの変化があった人が多くなっている。一方、旅行がきらい・どちらともいえないという人は、「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」がそれぞれ24.5%、16.7%と割合が高くなっており、もともと旅行への関心が薄い人たちの旅行離れがコロナ禍によって進んでいることがうかがえる。

図表1-4:コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化



※前回調査では左から3つ目の項目について、「自分が住んでいる近くの場所の魅力を発見した」として聞いた。

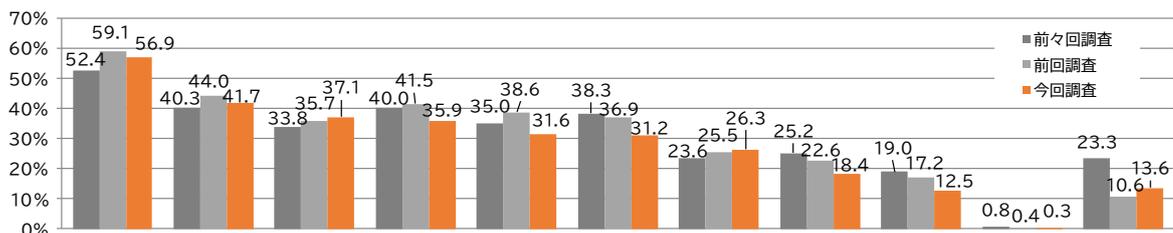


## 5. コロナ禍の旅行で必要な情報および入手ルート

コロナ禍において旅行先を決定する際に必要な情報について尋ねたところ、今回も前回、前々回同様、最も多いのは「観光地の混雑状況」であり、56.9%と半数以上が旅行先決定において必要と回答している。今回調査では、「宿泊施設の混雑状況」(41.7%)、「交通機関の混雑状況」(37.1%)と続き、混雑状況が上位3位を占めている。一方で、感染症対策状況においては、「観光地の感染症対策状況」(35.9%)、「宿泊施設の感染症対策状況」(31.2%)、「交通機関の感染症対策状況」(18.4%)の3つ全てにおいて、前回調査を下回る結果となっている。コロナ禍3年目となり、施設や交通機関内での感染症対策が当たり前ようになってきたこと、自分自身での感染症対策が身についてきたことなどが要因として考えられる。

項目によっては、男女差が大きく、特に「旅行先の感染者数」においては、男性が26.4%であるのに対し、女性は37.1%と男女間で10%以上の差がみられる。男性ではどの年代も2割台であるが、女性では60代以上は4割以上が旅行先決定において「旅行先の感染者数」に関する情報が必要と回答している。

図表1-7:コロナ禍において旅行先決定の際に必要な情報



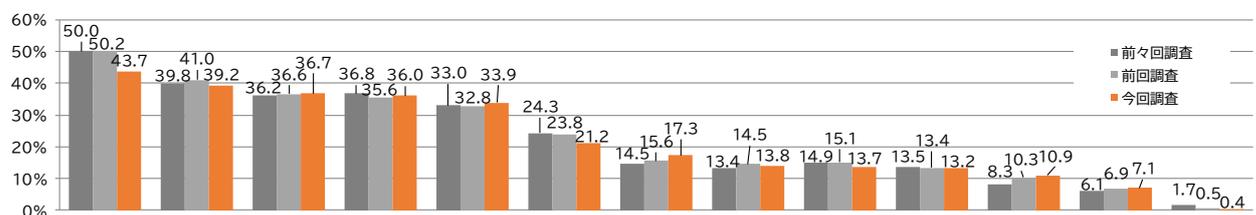
		全体より+10pt以上	全体より+5pt以上	全体より-5pt以上	全体より-10pt以上	観光地の混雑状況	宿泊施設の混雑状況	交通機関の混雑状況	観光地の感染症対策状況	旅行先の感染者数	宿泊施設の感染症対策状況	引越の実施状況	交通機関の感染症対策状況	旅行先の医療体制	その他	コロナ情報は必要ない特別
前々回調査	(n=20,000)					52.4	40.3	33.8	40.0	35.0	38.3	23.6	25.2	19.0	0.8	23.3
前回調査	(n=9,812)					59.1	44.0	35.7	41.5	38.6	36.9	25.5	22.6	17.2	0.4	10.6
今回調査	(n=11,419)					56.9	41.7	37.1	35.9	31.6	31.2	26.3	18.4	12.5	0.3	13.6
男性計	(n=5,894)					53.4	40.3	35.6	31.5	26.4	26.9	23.6	15.2	10.2	0.3	15.8
10代	(n=352)					52.8	33.2	33.5	26.4	24.7	21.3	14.5	15.6	13.1	0.3	11.1
20代	(n=724)					47.2	34.1	35.9	24.0	20.0	15.3	17.8	12.7	8.6	0.1	18.6
30代	(n=835)					54.4	41.3	37.5	28.9	22.9	24.0	21.2	15.8	11.7	0.1	15.3
40代	(n=1,115)					53.0	38.1	36.4	28.5	23.4	24.0	22.0	15.6	9.4	0.2	17.8
50代	(n=935)					55.0	39.4	34.7	29.0	23.4	24.2	23.9	13.2	8.2	0.4	17.0
60代	(n=956)					57.2	43.2	38.1	33.7	29.7	30.9	28.8	14.5	9.7	0.3	14.0
70代以上	(n=977)					52.7	46.9	31.8	44.9	37.6	42.0	29.9	18.7	12.3	0.6	14.4
女性計	(n=5,525)					60.5	43.3	38.8	40.7	37.1	35.7	29.1	21.7	15.0	0.2	11.2
10代	(n=355)					54.9	38.0	38.9	30.7	29.3	23.9	16.3	14.9	9.0	0.0	12.4
20代	(n=739)					60.6	37.3	40.3	29.5	29.2	25.0	22.7	16.4	9.2	0.1	15.0
30代	(n=761)					63.7	40.5	37.5	37.5	33.6	32.2	28.0	20.4	14.8	0.3	11.7
40代	(n=986)					60.6	40.9	37.6	36.5	34.8	31.3	28.7	20.2	14.7	0.2	13.7
50代	(n=852)					64.9	43.7	39.8	44.7	39.8	35.9	32.6	23.7	16.7	0.4	10.6
60代	(n=869)					59.0	48.9	40.5	45.0	41.2	42.9	33.4	24.6	17.6	0.5	9.8
70代以上	(n=963)					57.2	48.9	37.2	52.1	45.0	49.0	33.1	26.7	18.1	0.1	6.9

※今回及び前回調査では、コロナ禍での旅行予定・意向がある人のみに聴取。

必要な情報の入手経路（希望含む）として最も多かったのは、「旅行先の自治体のホームページ」（43.7%）である。「旅行先の観光協会のホームページ」（39.2%）、「旅行会社のホームページ」（36.7%）、「観光・商業施設や宿泊施設の公式サイト」（36.0%）と続く。これらの上位4項目については、順位の変動はあるものの3年間同じ項目があげられており、より正確な情報を求めて、公式サイトから情報を入手する・したいという人が多くなっている。一方で、「家族・友人の話」（17.3%）や「個人など私的なSNSからの情報」（10.9%）といった私的なルートの割合が年々増加している。

性・年代別にみると、男性60代、70代以上、女性70代以上を除くすべての性・年代において「旅行先の自治体のホームページ」が最も多く、その割合は女性20代を除き40%以上となっている。「旅行先の観光協会のホームページ」については、男性60代、70代以上、女性70代以上で最も割合が高い項目となっているものの、男性10代、女性10代、20代では、その割合は3割未満であり、若い世代の利用（希望）率は他の年代に比べて低い。一方で、SNSから情報入手は、公的なSNS、私的なSNSともに20代を中心に多くなっている。

図表1-8:コロナ禍において必要な情報の入手経路



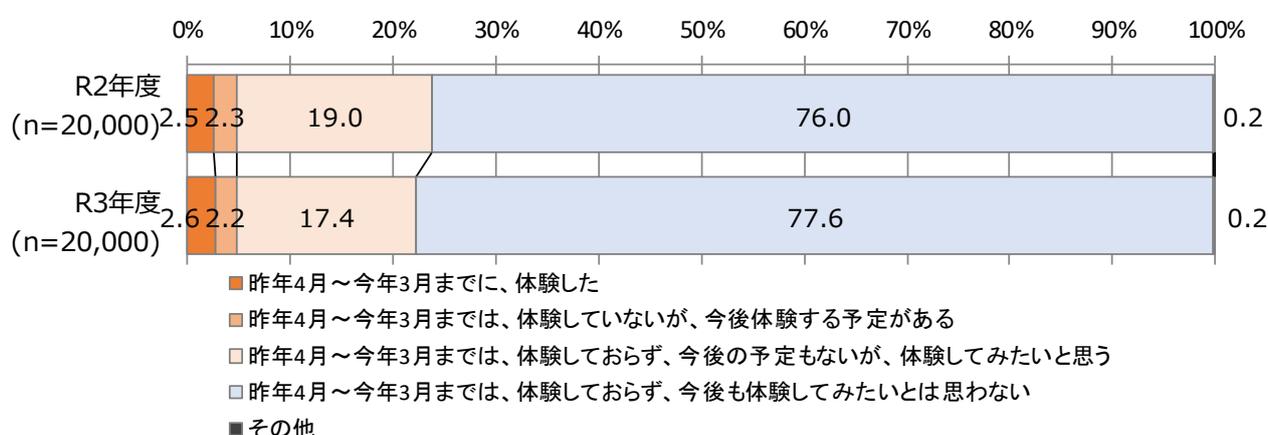
		全体より+10pt以上	全体より +5pt以上	全体より -5pt以上	全体より-10pt以上	旅行先の自治体のホームページ	旅行先の観光協会のホームページ	旅行会社のホームページ	観光・商業施設や宿泊施設の公式サイト	インターネット（口コミ・SNSなど）	テレビ・ラジオ	家族・友人の話	公的なSNSや旅行会社からの情報	新聞・雑誌の記事	観光案内所・情報センター	個人など私的なSNSからの情報	ブログからの情報	その他
前々回調査	(n=15,347)					50.0	39.8	36.2	36.8	33.0	24.3	14.5	13.4	14.9	13.5	8.3	6.1	1.7
前回調査	(n=8,768)					50.2	41.0	36.6	35.6	32.8	23.8	15.6	14.5	15.1	13.4	10.3	6.9	0.5
今回調査	(n=9,865)					43.7	39.2	36.7	36.0	33.9	21.2	17.3	13.8	13.7	13.2	10.9	7.1	0.4
男性 計	(n=4,960)					44.2	40.2	37.8	35.2	32.7	21.4	14.5	13.1	15.3	13.2	9.4	7.5	0.5
10代	(n=313)					41.2	25.6	31.9	28.4	24.9	16.9	18.2	16.9	10.9	6.1	13.4	7.3	0.0
20代	(n=589)					41.9	31.7	30.9	23.1	27.5	17.1	15.8	18.5	7.6	8.0	21.7	9.0	0.0
30代	(n=707)					44.0	35.9	38.5	29.1	39.3	18.5	17.7	16.5	9.9	10.5	13.4	12.0	0.4
40代	(n=917)					45.6	38.7	36.8	34.8	37.7	19.4	16.4	12.3	11.1	9.5	10.4	8.4	0.3
50代	(n=776)					43.9	39.7	38.5	35.2	37.1	20.5	12.5	11.2	13.0	12.9	7.9	8.1	0.9
60代	(n=822)					44.8	47.9	40.9	43.4	29.4	23.6	10.8	9.4	18.9	15.6	3.8	6.3	0.7
70代以上	(n=836)					45.3	50.0	42.0	43.7	27.2	29.2	13.2	11.5	29.9	23.8	1.9	2.3	0.6
女性 計	(n=4,905)					43.1	38.1	35.5	36.9	35.2	21.0	20.2	14.5	12.2	13.1	12.3	6.6	0.4
10代	(n=311)					42.4	22.2	25.1	23.5	28.3	17.7	17.7	21.2	8.7	5.5	23.2	4.5	0.0
20代	(n=628)					37.6	27.2	29.6	30.6	35.0	15.9	21.3	22.5	3.7	6.2	30.7	6.4	0.6
30代	(n=672)					45.1	33.2	34.8	35.4	42.0	16.5	20.1	19.6	7.0	10.0	20.8	11.6	0.0
40代	(n=851)					47.4	40.3	34.2	39.4	40.1	18.6	18.3	14.0	7.3	9.4	11.2	10.0	0.4
50代	(n=762)					44.6	40.7	35.4	41.9	39.4	22.3	17.5	11.3	10.4	13.1	6.4	6.4	0.7
60代	(n=784)					43.6	44.0	42.7	39.8	32.0	26.3	22.3	8.7	18.1	18.2	3.6	4.5	0.6
70代以上	(n=897)					40.0	45.3	38.7	37.9	27.3	25.6	22.5	11.1	24.2	22.2	3.0	2.8	0.3

## 6. オンライン旅行体験への参加

オンライン旅行体験\*をしたことがあるか、または今後体験する予定があるか尋ねたところ、「体験したことがある」は2.6%のみであった。「今後体験する予定がある」も含めると4.8%となり、令和2年度と同じ割合になる。コロナ禍でオンライン旅行商品が流通はしているものの、一般的には浸透しているとはいえないことがうかがえる。

「体験してみたいと思う」は19.0%（令和2年度）から17.4%（令和3年度）に微減、「体験しておらず、今後も体験してみたいと思わない」は76.0%（令和2年度）から77.6%（令和3年度）とやや増加している。

図表1-9: オンライン旅行体験の有無

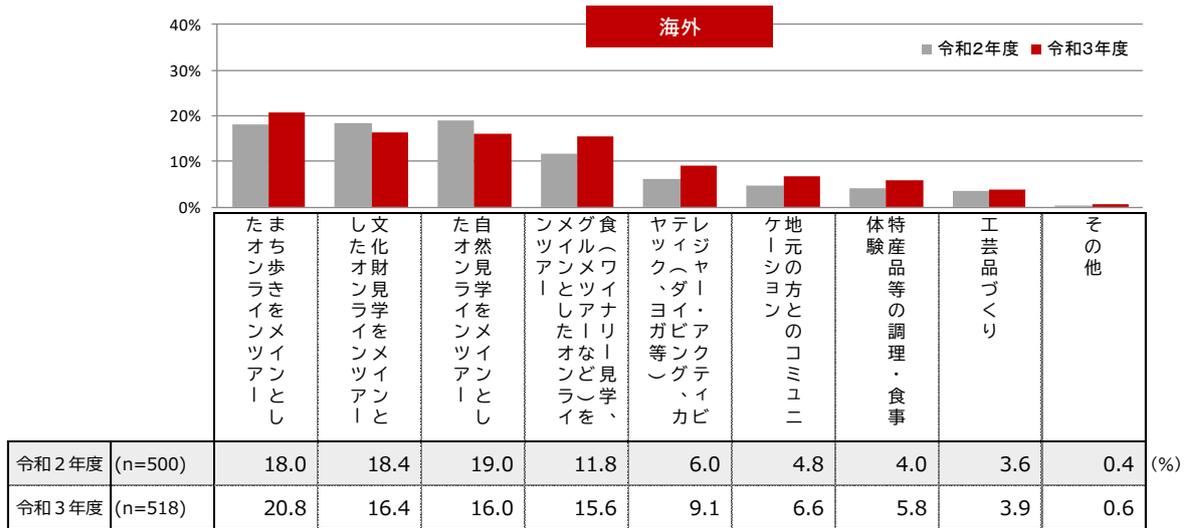
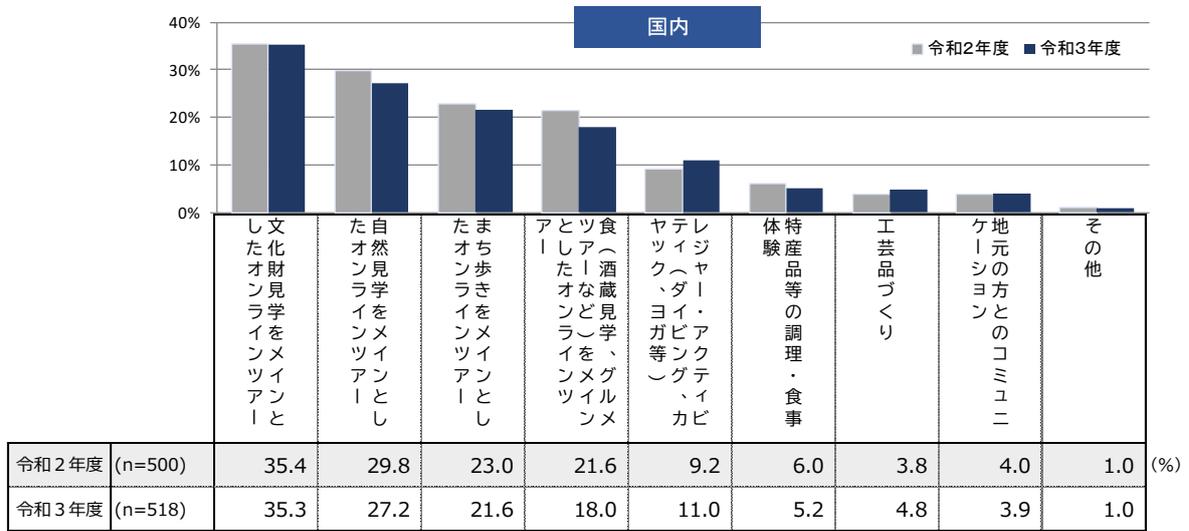


オンライン旅行体験者に対して、その体験内容を尋ねたところ、国内を行先とした「文化財見学をメインとしたオンラインツアー」が2年連続で最も多かった。次いで「自然見学」、「まち歩き」、「食」をメインとした国内のオンラインツアーが続く。上位は2年連続でいずれも国内のオンラインツアーとなっている。海外を行先とした場合、令和3年度では「まち歩きをメインとしたオンラインツアー」が最も多くなっている。

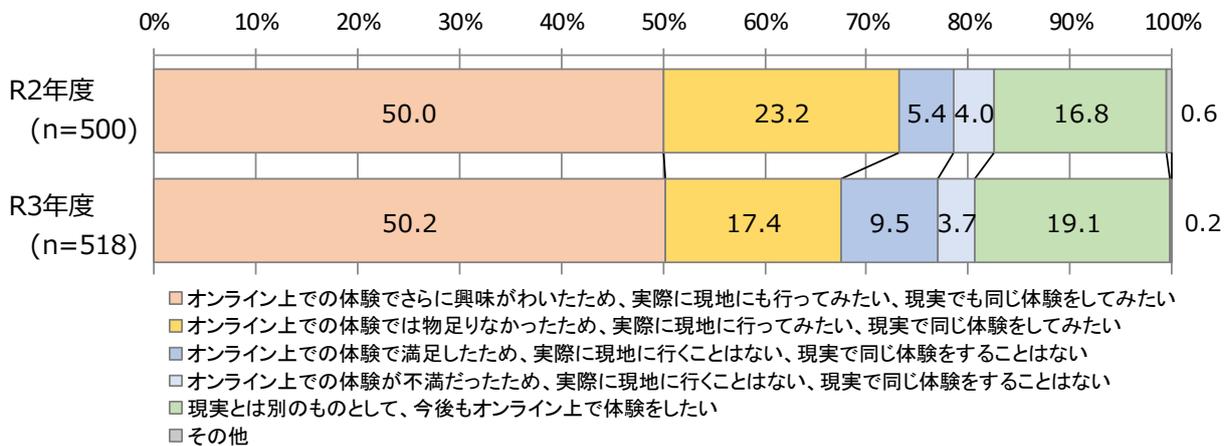
同じく体験者に対し、オンライン旅行体験をしてどのように感じたかを聴取したところ、「オンライン上での体験でさらに興味がわいたため、実際に現地にも行ってみたい、現実でも同じ体験をしてみたい」と答えた人が2年連続で5割以上と最も多かった。次いで、「オンライン上での体験では物足りなかったため、実際に現地に行ってみよう、現実でも同じ体験をしてみたい」が続くが、前年度より5.8ポイント減少している。一方、「現実とは別のものとして、今後もオンライン上で体験をしたい」はやや増加しており、現実の旅行の代替ではなく、オンライン旅行体験そのものを楽しむ人が増えているのではないかと推察される。

\*オンラインツアーやオンラインでのアクティビティ体験、VRでの観光体験など、実際に現地に行かずにオンライン上で旅行を楽しむ体験。オンライン上での旅行先は、国内・海外を問わない。

図表1-10:オンライン旅行体験の内容



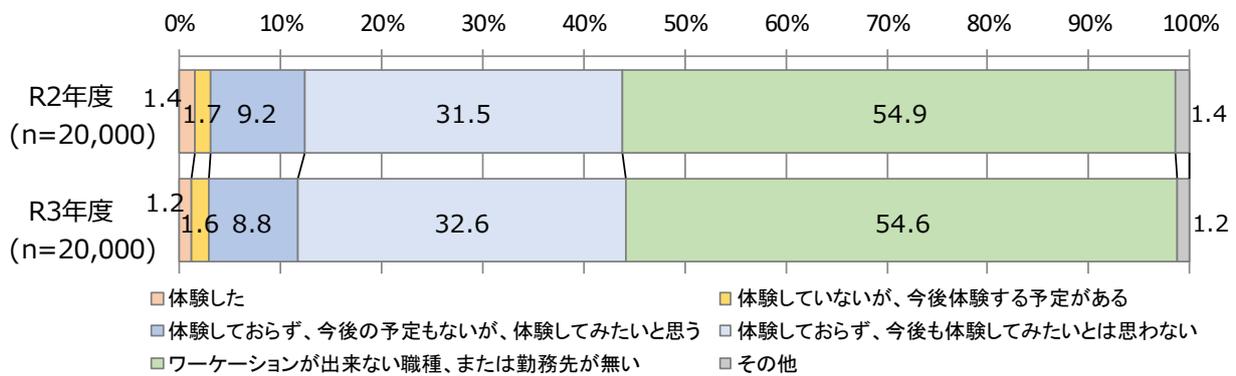
図表1-11:オンライン旅行体験の感想



## 7. ワークেশョンの実態と志向

旅行先のホテル等で仕事をする「ワークেশョン」を年度内に体験したか、または今後体験する予定があるか尋ねたところ、2年連続で「体験した」のは全体で1%程度という結果となった。「今後体験する予定がある」も令和3年度は1.6%にとどまり、ワークেশョンをしている人は依然として少ない状況にある。「ワークেশョンが出来ない職種、または勤務先が無い」が半数以上を占めており、コロナ禍で注目されるようになった新しいワークスタイルであるワークেশョンの体験者は、非常に限られていることがうかがえる。

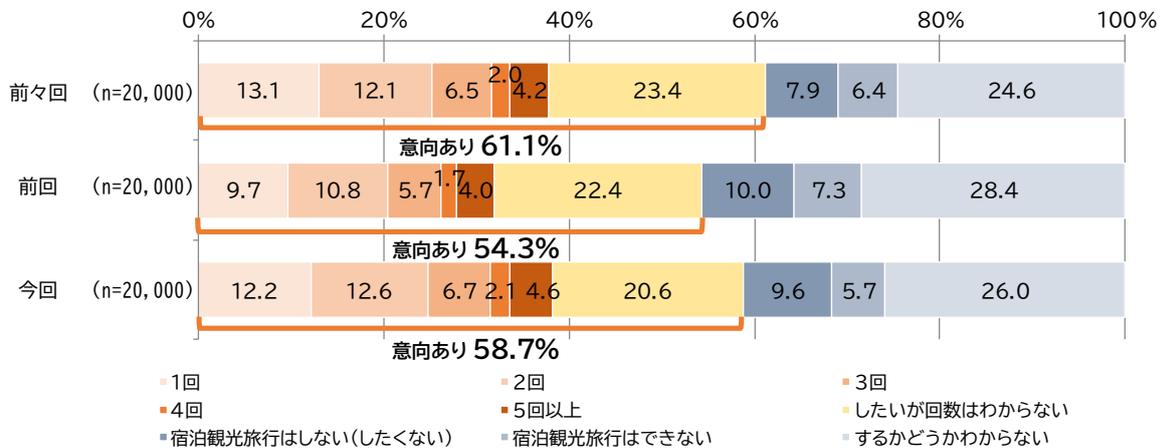
図表1-12: ワークেশョンの実態と志向



## 8. 今後の宿泊観光旅行への希望

今後1年間の国内宿泊観光旅行への参加希望率は58.7%で、過去最低を記録した前回<sup>※</sup>(54.3%)から4.4ポイント増加した。また、旅行回数をみると、複数回(2回～5回以上)旅行をしたい人の割合は、前々回調査<sup>※</sup>よりも増加している。8～7割台で推移していたコロナ禍前と比べると依然として希望率は低いが、コロナ禍が続く中であっても、人々の旅行意欲が高まっていることが読み取れる。

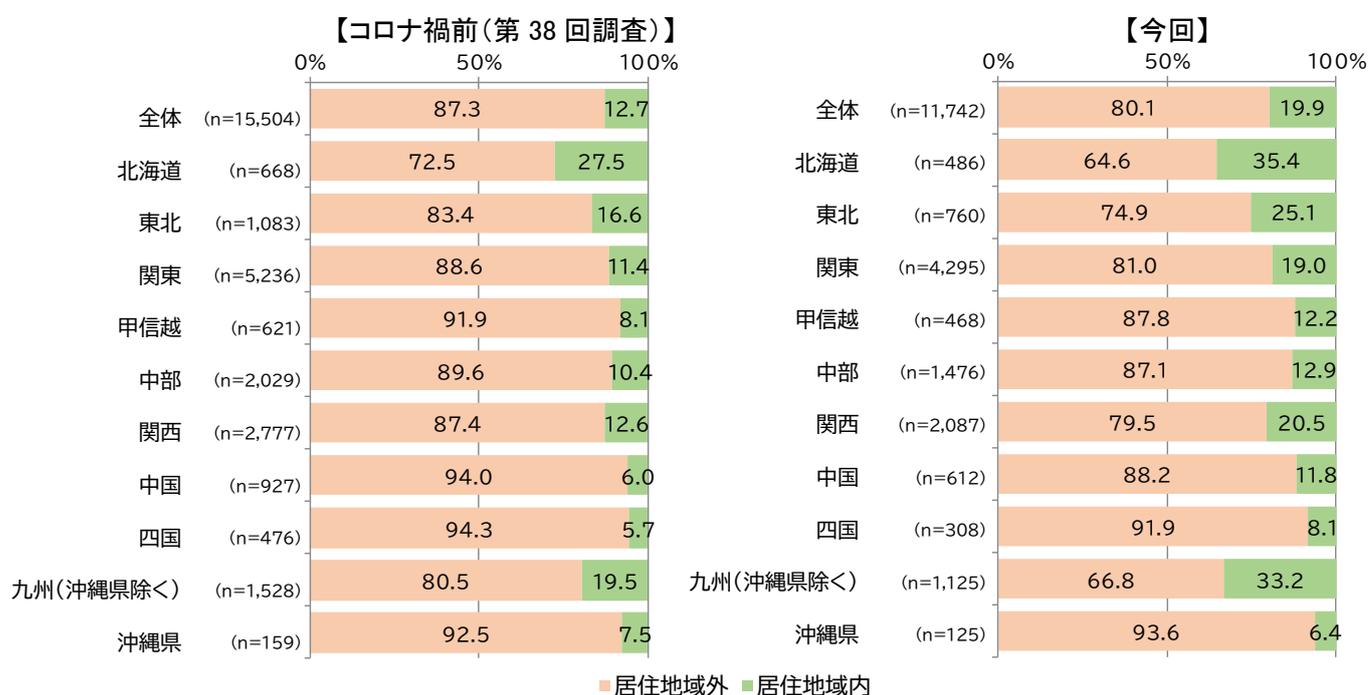
図表1-13: 宿泊観光旅行への参加希望率・希望回数の変化



※前々回調査：令和2年9月25日～10月1日実施、前回調査：令和3年4月22日～5月6日実施

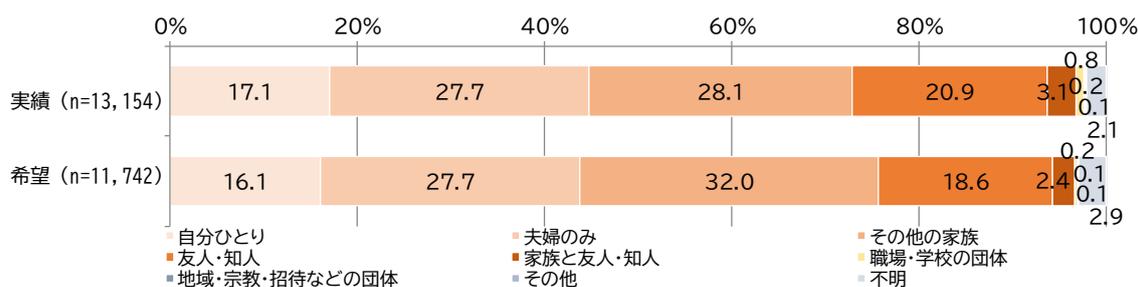
希望する旅行先に関して、コロナ禍前に実施した調査と今回の調査を比較する。旅行意向がある人に限定してみると、「居住地域内<sup>※1</sup>」と答えた人は19.9%で、コロナ禍前である第38回<sup>※2</sup>(12.7%)から7.2ポイント増加している。前回調査で「居住地域内」と回答した割合は19.7%であり、今回調査でも同じような傾向がみられる。居住地域別では、沖縄県を除くすべての地域で、「居住地域内」への旅行を希望する割合が第38回よりも高くなっている。特に、北海道(35.4%)、九州(沖縄県除く)(33.2%)では「居住地域内」の割合が3割以上と高い。

図表1-14: コロナ禍前後の希望旅行先の比較



希望する国内宿泊観光旅行の同行者については、「その他の家族(夫婦以外の家族)」と答えた人が最も多く32.0%となっている。次に「夫婦のみ」(27.7%)が続き、家族旅行(夫婦のみ+その他の家族)希望者は計59.7%と約6割を占めている。令和3年度の実績においても55.8%が家族旅行であり、今後も家族旅行中心の傾向が続くと考えられる。

図表1-15: 同行者の実績と希望の比較

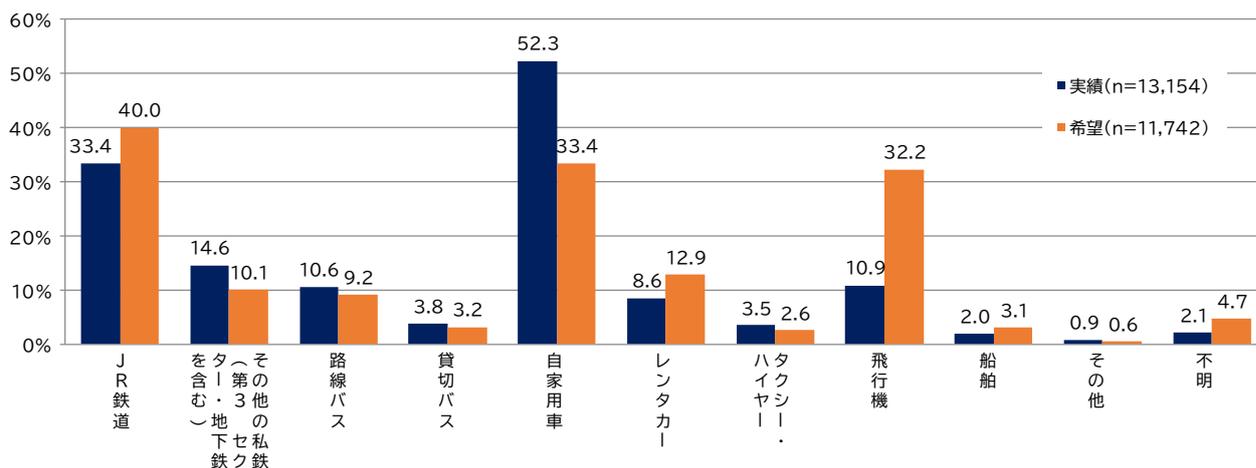


※1 地域区分：北海道・東北・関東・甲信越・中部・関西・中国・四国・九州(沖縄県除く)・沖縄県

※2 第38回調査：令和元年10月4日～10月7日実施

交通手段については、「JR鉄道」の利用希望が40.0%で最も多く、「自家用車」(33.4%)「飛行機」(32.2%)と続く。令和3年度の実績では、コロナ禍の影響から「自家用車」が52.3%と非常に多く、飛行機は10.9%にとどまるが、利用希望においては、このどちらも3割台となっており、実績と希望の差が大きい。

図表1-16: 利用交通手段の実績と希望の比較



### ～研究員コラム～

最近よく耳にする「ミレニアル世代」「Z世代」という言葉。現代の若者を示す総称としてしばしば使われているが、これらの世代は観光に対してどのような意識を持ち、どのような特徴があるのか、いくつかの設問について世代別に集計し比較することで考えてみたい。世代の区分にあたっては明確な定義はないため、ここでは以下のように分類している。

- ・ ミレニアル世代 1989年～1995年生まれ
- ・ Z世代 1996年～2007年生まれ (※15歳以上)
- ・ その他の世代 ～1988年生まれ

※以下の文章中では、ミレニアル世代とZ世代をまとめて「若者世代」と表記する。

### ①国内宿泊旅行へ出かける or 出かけない？

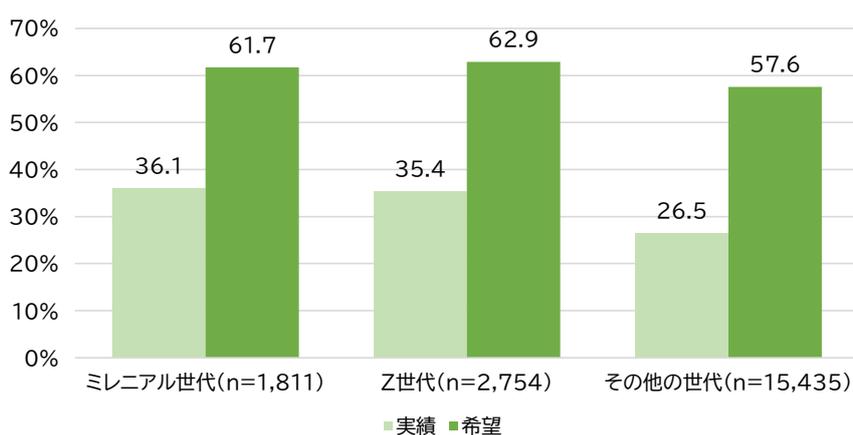
国内宿泊観光旅行への令和3年度の参加率(実績)と参加希望率をみると(図表1-17)、ミレニアル世代、Z世代ともに、実績は3割以上、希望は6割以上となっており、その他の世代に比べて多くなっている。「若者の旅行離れ」が危惧されているが、コロナ禍での今回の調査の結果では、若者世代は国内の宿泊観光旅行に対し、意欲的であることが示されている。

では、この世代の人たちは、どのような旅行に出かけたいと思っているのだろうか。行きたいと思う旅行についてまとめた図表1-18をみると、ミレニアル世代、Z世代ともに、最

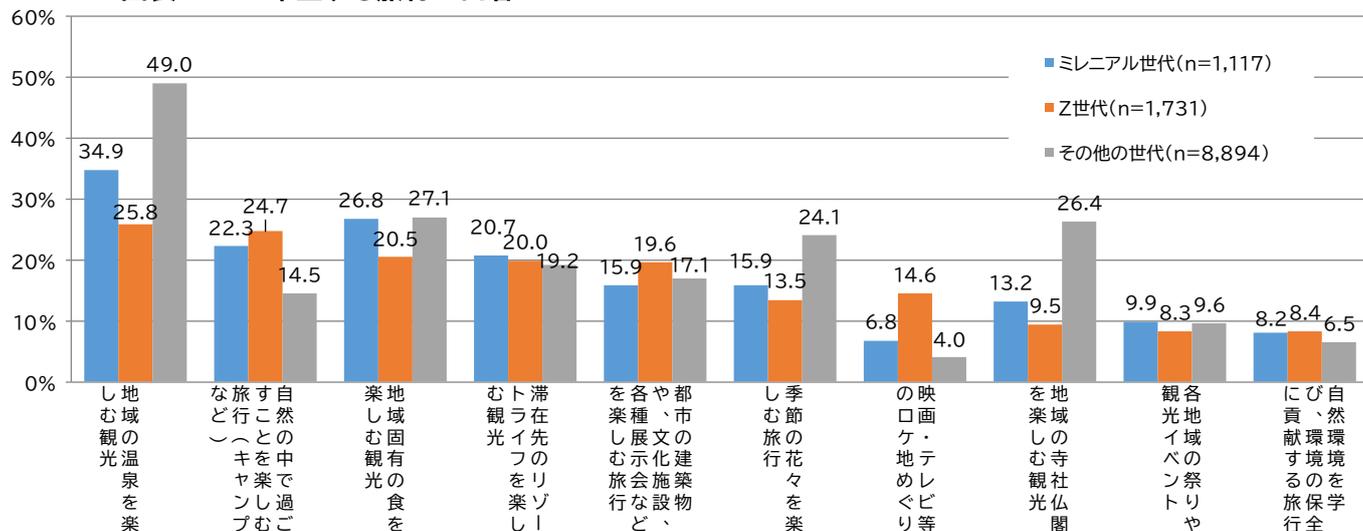
も多かったのは「地域の温泉を楽しむ観光」であった。割合は、ミレニアル世代で34.9%、Z世代で25.8%と、2つの世代間で約10%の差がある。その他の世代では、49.0%と約半数が「地域の温泉を楽しむ観光」を希望しており、若者世代との差が大きい。他にその他の世代との差が大きい項目としては、「地域の寺社仏閣を楽しむ観光」があげられる。こちらはその他の世代が26.4%であるのに対し、ミレニアル世代は13.2%、Z世代は9.5%にとどまる。図表1-18は若者世代の希望する旅行の上位10位をまとめたものであるが、突出して多くの割合を占める旅行がないのも特徴といえ、特にZ世代において顕著である。「旅には温泉はつきもの」というような旅の定番という感覚は薄く、それぞれの興味によるものに分散していることがうかがえる。ミレニアル世代とZ世代の間で差が大きいのは、前述の「地域の温泉を楽しむ観光」、次いで「映画・テレビ等のロケ地めぐり」である。ロケ地めぐりに関しては、ミレニアル世代が6.8%とその他の世代(4.0%)と近い値であるのに対し、Z世代では14.6%となっている。ロケの誘致に積極的に取り組んでいる自治体、団体も多いが、Z世代向けの番組においては特に効果的と考えられる。

次に、誰と旅行したいと思っているかに注目する。最も行きたい泊りがけの国内観光旅行を1つ考えてもらい、その旅行について誰と行きたいか尋ねた結果をまとめたのが図表1-19である。ミレニアル世代において最も多かったのは「家族(その他の家族)」(※夫婦のみを除いた家族)で、31.1%となっている。同居している家族形態について、2~3世代世帯家族の割合は、ミレニアル世代が53.5%、Z世代が65.8%とZ世代の方が多いものの、Z世代の「家族(その他の家族)」の割合は21.6%と、ミレニアル世代よりも10%近く少ない。Z世代において最も多いのは「友人・知人」であり、43.2%と多くを占める。その他の世代(13.1%)と比べると30%以上の差がある。Z世代の令和3年度の旅行実績においても、「友人・知人」との旅行は38.8%を占めており(その他の世代の実績:15.4%)、友人や知人と旅行に出かけることは、Z世代の特徴といえるだろう。(ただし、自分の家庭を持ち始める年代となっているミレニアル世代とそうでないZ世代という年代の影響も考えられ、この点は引き続き分析を進めていきたい。)また、若者世代では、「自分ひとり」を希望する人もその他の世代(15.0%)に比べて多く、ミレニアル世代では18.9%、Z世代では20.1%となっている。

図表1-17: 国内の宿泊観光旅行の参加率と参加希望率

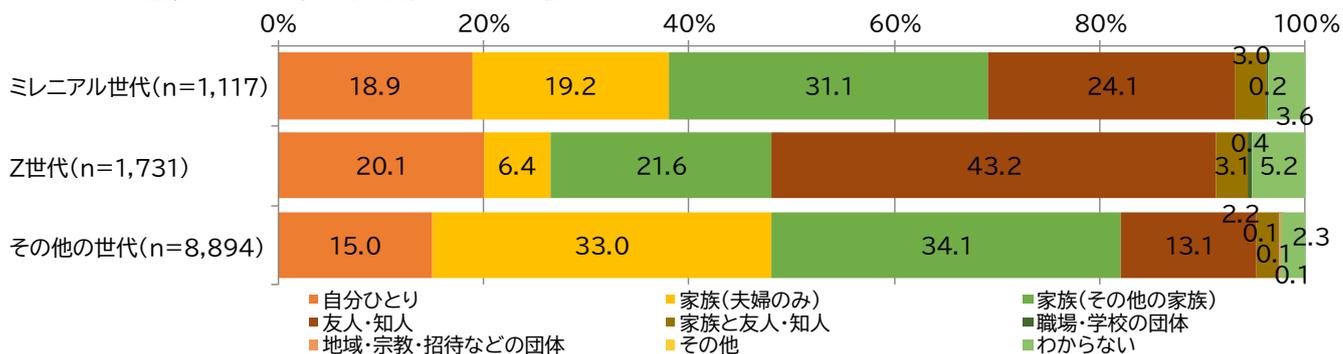


図表1-18: 希望する旅行の内容



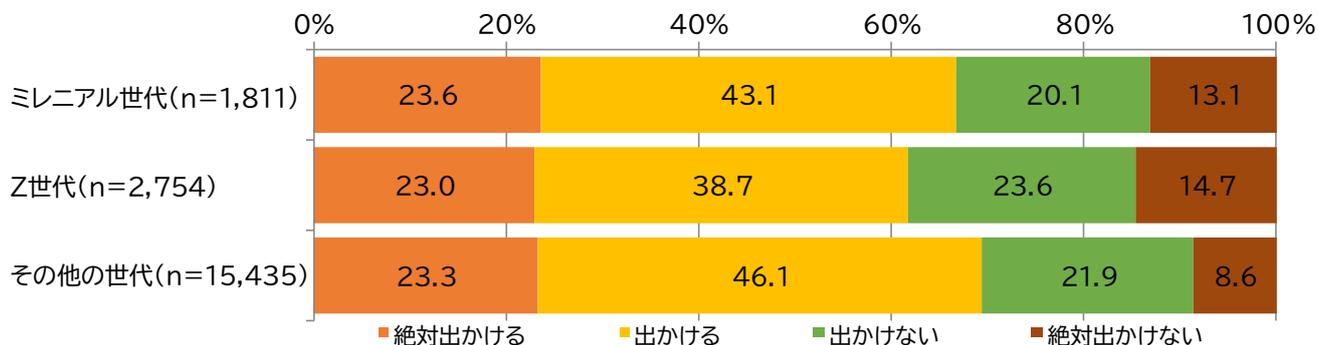
※ミレニアル世代とZ世代を合計した場合の上位10項目のみ掲載

図表1-19: 希望する旅行の同行者



今回の調査では、国内観光旅行について、次のような質問もしている。「3日間の休日と、10万円が与えられました。あなたは国内観光旅行に出かけますか？(コロナ禍は考慮せず自由に観光旅行に出かけられる環境にあると仮定)」私自身は「絶対出かける！」と勢いよく回答したいところであるが、調査結果(図表1-20)はというと、すべての世代で最も多いのは「出かける」である。この設問ではあえて「どちらでもない」という選択肢を設けず、出かけるか出かけないかのどちらかに分かれるようにしたが、ミレニアル世代もZ世代も出かける側を選んだ人が6割以上となっている。しかし、前述の国内の宿泊観光旅行の参加希望率においては、両世代ともその他の世代に比べて高い希望率となっていたが、こちらの質問では、出かける側を選んだ割合は、その他の世代の方がわずかながらに多い。ミレニアル世代もZ世代も「絶対出かけない」が1割以上となっていて、その他の世代(8.6%)に比べて多いことも特徴的である。若者世代では、国内の観光旅行に積極的な層がいる一方で、興味を持っていない層も、他の世代に比べて多いことがうかがえる結果となっている。

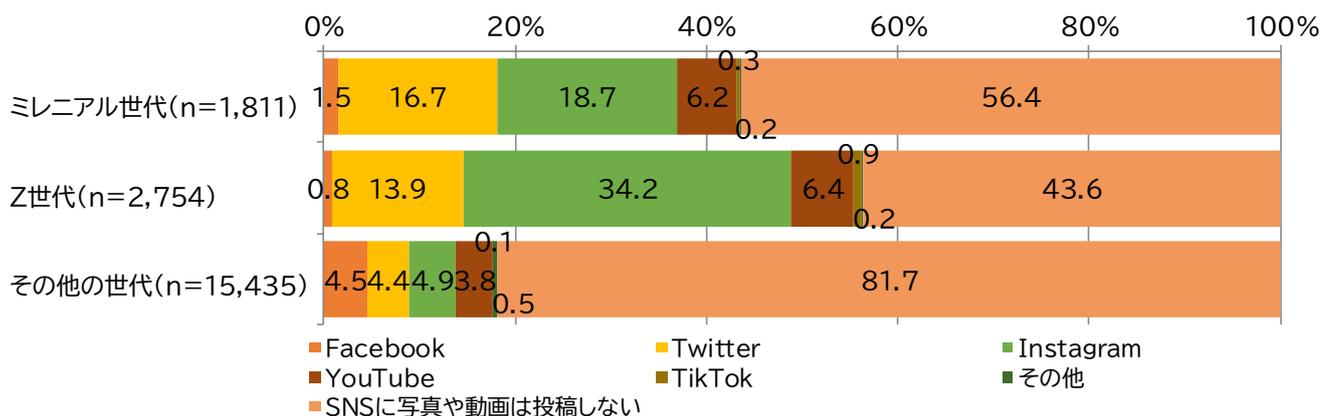
図表1-20: ある条件下での国内観光旅行への参加意欲



### ②旅行中や旅行後にその様子を撮影してSNSに投稿するか？

若者世代から生まれた「インスタ映え」という言葉も全世代に浸透してきたように思われる昨今、自分で撮影した写真や動画を Instagram 等の SNS に投稿する人は多いのではないだろうか。旅行中や旅行をした後に、その様子を写真や動画で撮影して SNS に投稿するかどうか尋ねたところ、図表 1-21 に示した通り、やはり流行の発信源である若者世代において、その他の世代に比べて SNS に投稿する人が多いという結果になった。投稿する人の割合は、ミレニアル世代では 43.6%、Z 世代では 56.4% と過半数を占めており、その他の世代 (18.2%) に比べて非常に多い。よく使用されている SNS は何かをみると、ミレニアル世代、Z 世代ともに「Instagram」が最も多く、特に Z 世代では、「Instagram」が 34.2% を占め、次に多い「Twitter」(13.9%) との差が大きい。また、その他の世代では 4.5% を占める「Facebook」については、ミレニアル世代は 1.5%、Z 世代は 0.8% と少なく、使用する SNS にも世代間で違いがみられる。

図表1-21: 旅行中・旅行後に投稿するSNS

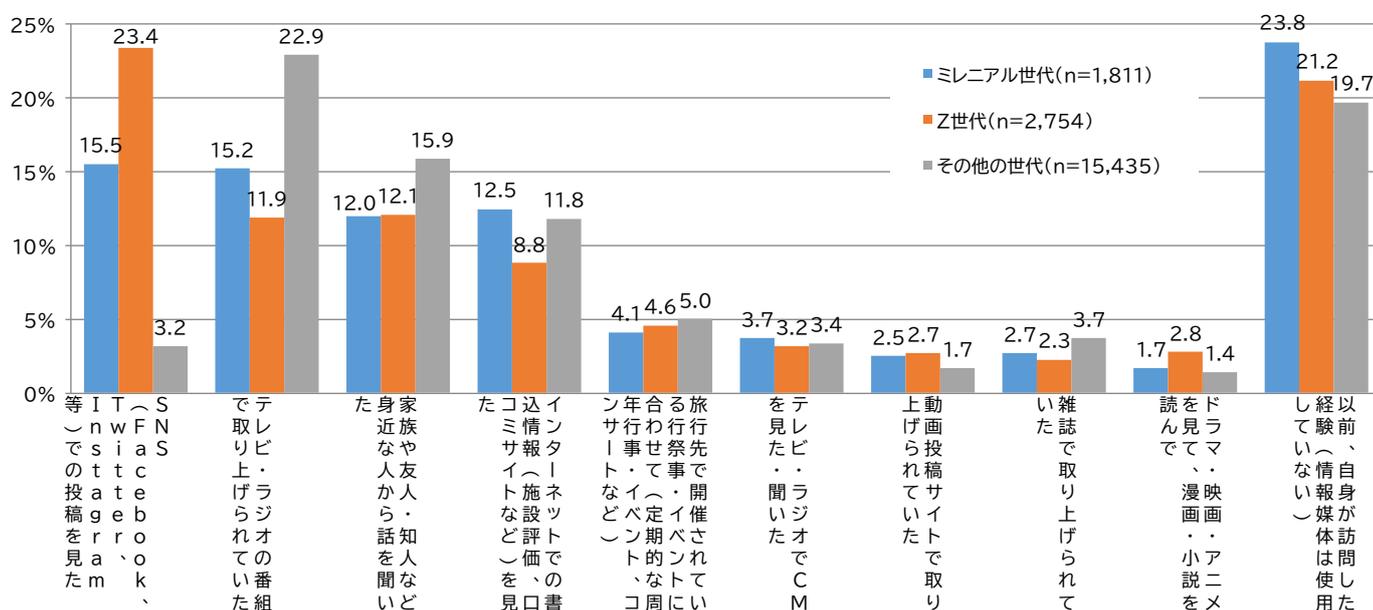


### ③普段旅行に出かける際、旅行先を決めるきっかけとなるものは何か？

テレビや雑誌で特集が組まれていたり、身近な人から話を聞いたり、SNSの投稿を見たり、私たちは普段から、観光地や観光施設、イベント等について多くの情報に触れている。

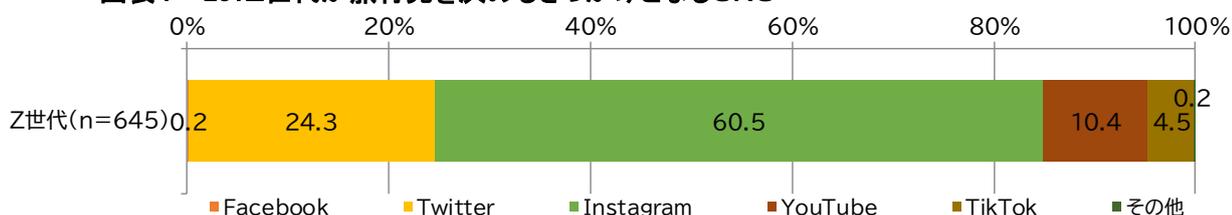
では、その中で最も頻繁に、旅行先を決めるきっかけとなっているのはどれかを尋ねたところ、図表1-22のような結果となった。ミレニアル世代において最も多いのは「以前、自身が訪問した経験（情報媒体は使用していない）」(23.8%)である。特段何かを見た、または聞いたことにより旅行先を決めるのではなく、自分自身の経験に基づいて決めるという人が多くなっている。情報媒体として最も多いのは、「SNSでの投稿を見た」で、15.5%となっている。こちらはZ世代においては、全体で最も多い項目となっており、23.4%を占めている。前述の「②旅行中や旅行後にその様子を撮影してSNSに投稿するか？」においてもZ世代の方がミレニアル世代に比べてSNSへ投稿するという回答が多かったが、旅行先の決定においてもZ世代の方がSNSによる影響が大きい。Z世代の中で、SNSと回答した人に対して、具体的な媒体を聞いた結果が図表1-23である。こちらでは、6割以上が「Instagram」と回答しており、「Twitter」が24.3%、「YouTube」が10.4%と続く。「Instagram」は写真や動画付きの投稿が主となっているため、美しい景色やおいしそうな食べ物など、より具体的に旅行先をイメージしやすい。また、投稿者の感想などもコメントされている場合が多く、旅行先を決めるのに必要な情報が手軽に得られるツールだといえるだろう。

図表1-22: 旅行先を決めるきっかけとなる情報媒体



※ミレニアル世代とZ世代を合計した場合の上位10項目のみ掲載

図表1-23: Z世代が旅行先を決めるきっかけとなるSNS



## 2. 令和4年度調査結果のポイント

本調査は、全国の20,000人を対象に、令和3年度（令和3年4月～令和4年3月までの1年間）の国内旅行の実態と、今後の希望について調査を行ったものである。この調査は、昭和39年から継続して実施しており、国民の観光動向を55年以上のロングスパンで比較検証できる調査である。ただし、平成24年度調査（23年度の宿泊観光旅行実態を調査）より、訪問留置調査から現在のインターネット調査へと調査手法を変更したため、平成22年度以前と平成23年度以降のデータとでは単純に比較はできない。

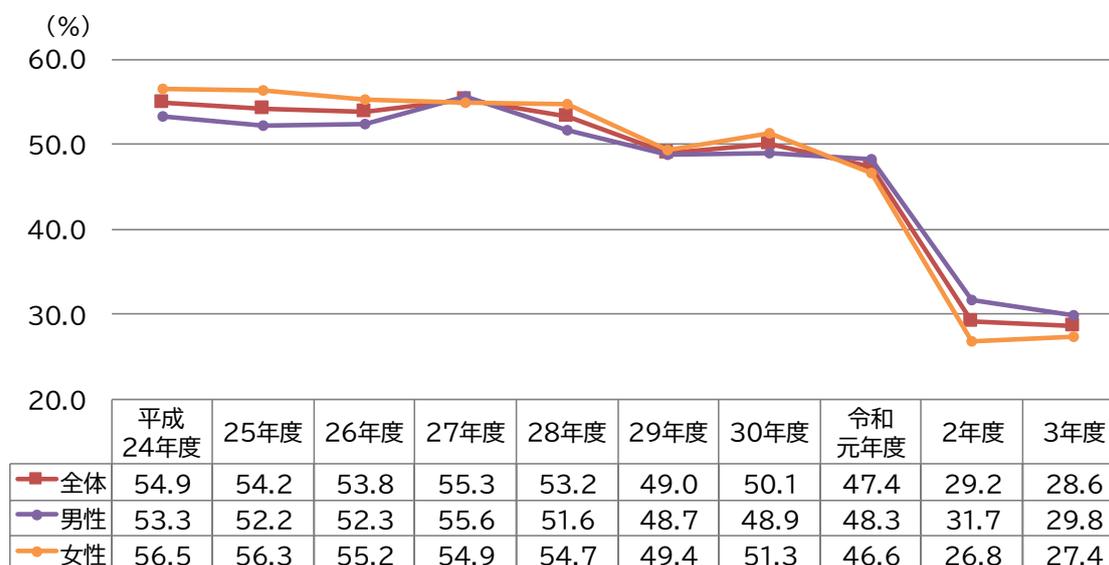
令和3年度の宿泊観光旅行は、昨年度の旅行実態から参加率が微減している一方で、参加希望については数年ぶりに増加に転じている。実態としては昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいのが、希望については回復の兆しがみられる結果となっている。

### Data 1 宿泊観光旅行の参加率

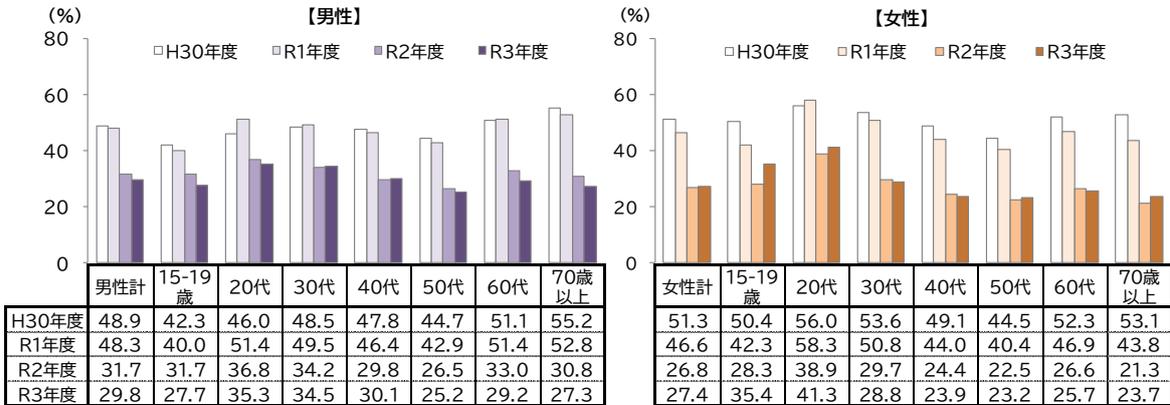
令和3年度における宿泊観光旅行への参加率は28.6%となり、昨年度に比べ0.6ポイントの減少となっている。宿泊観光旅行の参加率は、昨年度に大きく低下していたが、今年度も減少傾向がうかがえる。性別にみると、男性の参加率は昨年度に比べ1.9ポイント減の29.8%、女性の参加率は昨年度に比べ0.6ポイント増の27.4%であった。

性・年代別にみると、男性では30代・40代を除くすべての年代で前年度よりも減少しているものの、女性は、30代・40代・60代を除き増加している。特に、女性15-19歳で参加率の増加幅が大きく、7.1ポイント増加している。

図表2-1: 宿泊観光旅行参加率の推移(全体/性別)



図表2-2: 宿泊観光旅行参加率の推移(性・年代別)

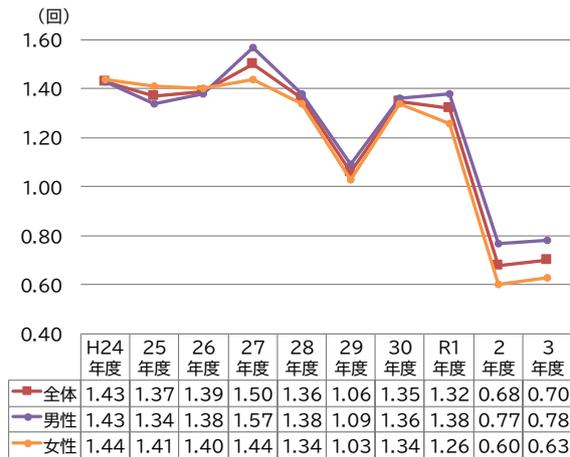


Data 2 宿泊観光旅行の回数

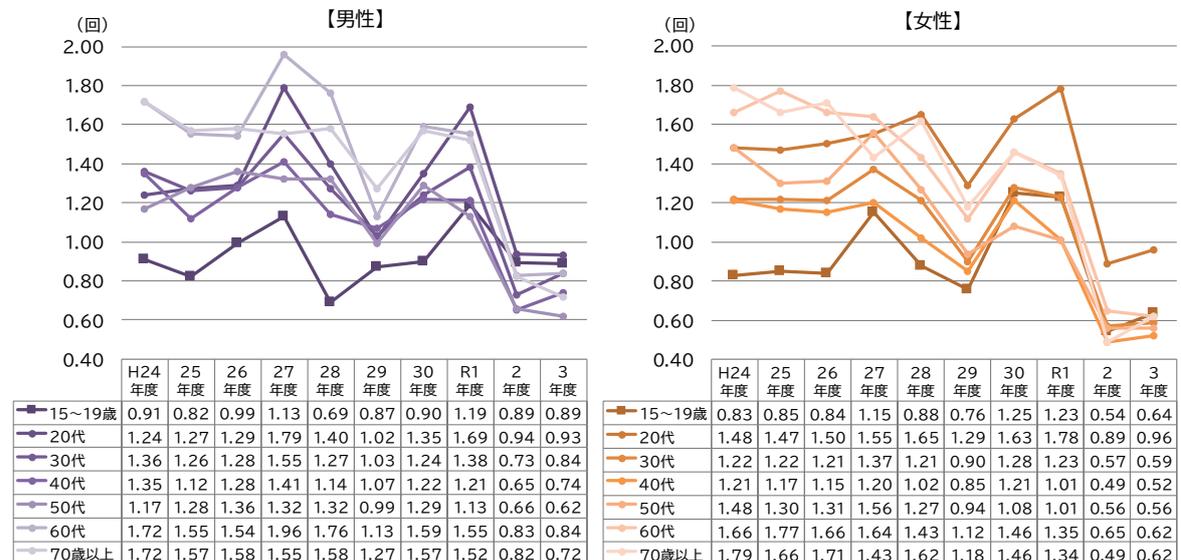
宿泊観光旅行への参加回数は全体で 0.70 回と昨年度に比べやや増加している。性別にみると男女ともに微増している。

性・年代別では男女とも昨年度から参加回数が増加または同水準の年代がほとんどであるが、男性 50 代・70 歳以上、女性 60 代では昨年度よりも減少し、平成 24 年から比べると、過去最も低い水準となっている。

図表2-3: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(全体/性別)



図表2-4: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(性・年代別)

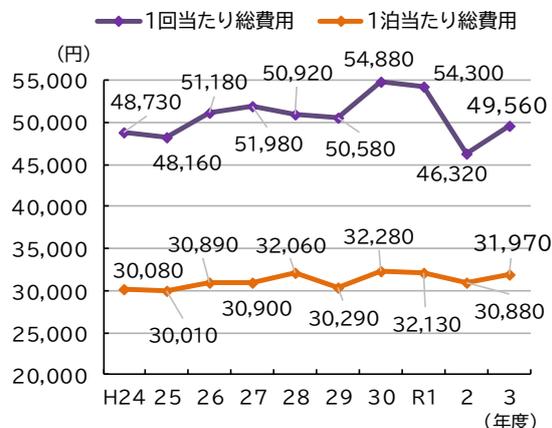


### Data 3 旅行費用

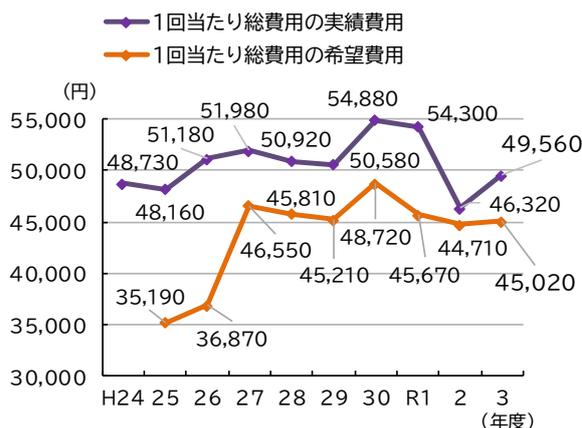
宿泊観光旅行における1回当たりの総費用は49,560円で、昨年度から3,240円の増加となっている。1泊当たりの総費用は31,970円で、昨年度より1,090円の増加である。

一方、希望費用では、1回当たりの総費用が45,020円と、昨年度から310円と僅かに増加し、実績と希望の差が拡大した。1泊当たりの総費用は21,960円と、昨年度から870円増加した。

図表2-5: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たり)



図表2-6: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たりの実績と希望)

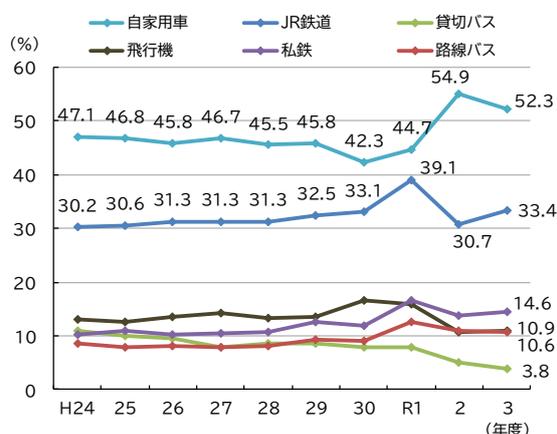


※平成25年度調査(平成24年度)の希望費用は、聴取方法を変更しているためデータの比較が難しく、掲載をしていない。

### Data 4 交通手段

宿泊観光旅行における利用交通手段は、「自家用車」が52.3%で最も多く、次いで「JR鉄道」が33.4%、「私鉄」が14.6%と続く。昨年度と比較すると、「自家用車」が2.6ポイント低下、一方「JR鉄道」は2.7ポイント増となっている。「自家用車」は利用率が若干減少したものの、依然50%を超える割合を示し、コロナ禍の影響による交通手段の変化がみられる。

図表2-7: 宿泊観光旅行の利用交通手段の推移

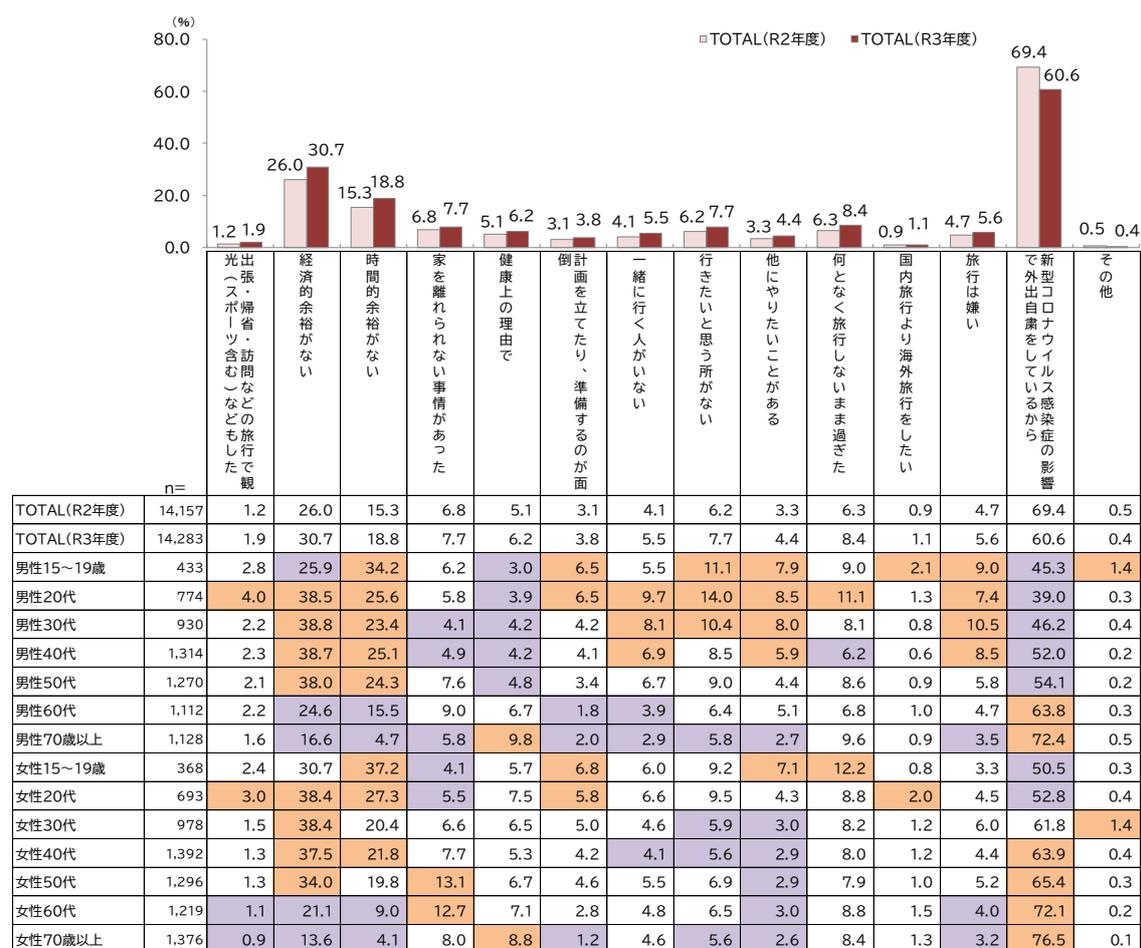


## Data 5 宿泊観光旅行をしなかった理由

性・年代別に宿泊観光旅行をしなかった理由をみると、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」の割合が全ての性・年代において最も高く、年代が高くなるにつれ、その割合も高くなっている。その他の理由をみると、男女ともに20代～50代は「経済的余裕がない」をあげる割合が高く、各層で3割台となっている。また、男女とも50代以下の層では「時間的余裕がない」の割合も高い。一方、高齢層では、男女とも70歳以上で「健康上の理由で」、女性50・60代では「家を離れられない事情があった」の割合が他の層に比べ高い。

昨年度調査と比較すると、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」が減少しており、新型コロナウイルス感染症の外出に与える影響は若干低下しているものと考えられる。

図表2-8: 宿泊観光旅行をしなかった理由の比較



※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に高い

※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に低い

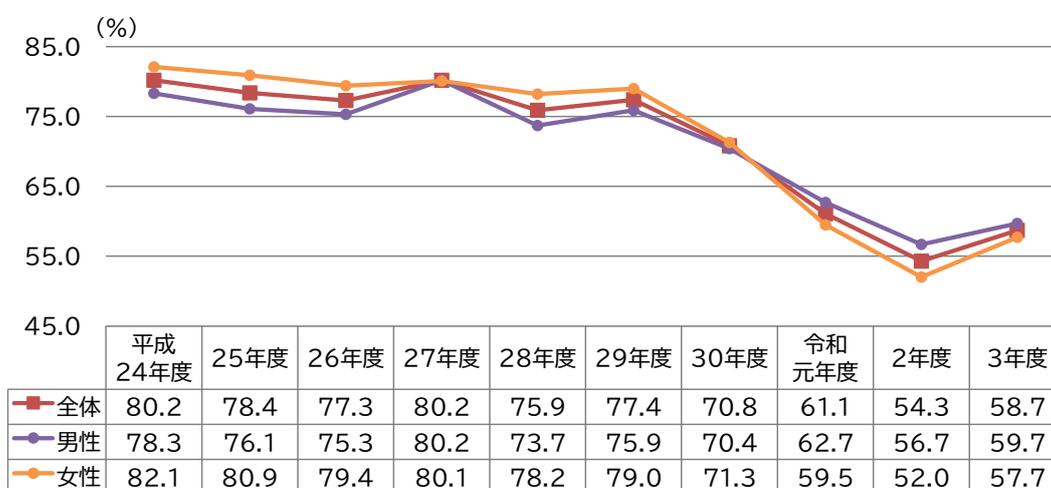
※ ベース: 宿泊観光旅行をしていない人

## Data 6 宿泊観光旅行への参加希望率

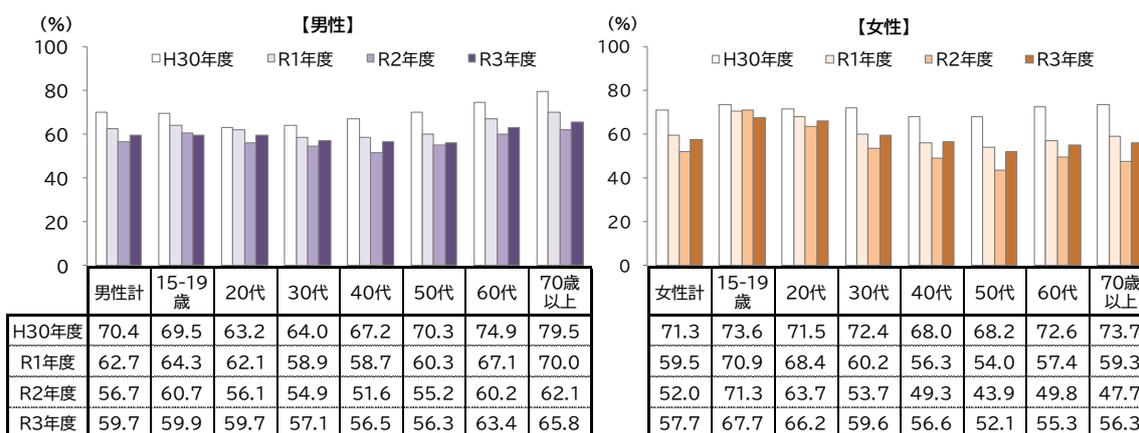
宿泊観光旅行への参加希望率は、昨年度に比べて4.4ポイント増加し、58.7%となっている。

性・年代別にみると、15-19歳を除いたすべての層で昨年度より増加しており、特に女性30代以上の各層では5ポイント以上の増加となっている。宿泊観光旅行への参加希望という点においては、回復の兆しがみられる。

図表2-9: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(全体/性別)



図表2-10: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(性・年代別)



### 3. 都道府県別集計（参考）

本調査は、平成24年度（第31回）調査よりインターネットモニター10,000人を対象としており、全国の動向として、満足度及び再来訪意向について、訪問先の都道府県別の集計を行ってきた。しかし、都道府県別の集計とした場合、そのサンプル数が100を割るところもあったため、令和元年度（第38回）調査より調査対象を20,000人に拡大し、より詳細な都道府県別の集計を実施している。

なお、今回の調査対象20,000人から得られた総旅行回数は13,154となっており、ここでは、その総旅行回数をベースに集計している。

図表3-1: 宿泊観光旅行の訪問先

1	北海道	837	25	滋賀県	129
2	青森県	168	26	京都府	521
3	岩手県	180	27	大阪府	573
4	宮城県	245	28	兵庫県	432
5	秋田県	123	29	奈良県	110
6	山形県	178	30	和歌山県	231
7	福島県	288	31	鳥取県	96
8	茨城県	194	32	島根県	98
9	栃木県	454	33	岡山県	118
10	群馬県	404	34	広島県	191
11	埼玉県	125	35	山口県	101
12	千葉県	547	36	徳島県	48
13	東京都	826	37	香川県	105
14	神奈川県	705	38	愛媛県	100
15	新潟県	282	39	高知県	83
16	富山県	150	40	福岡県	357
17	石川県	274	41	佐賀県	75
18	福井県	132	42	長崎県	172
19	山梨県	303	43	熊本県	186
20	長野県	558	44	大分県	205
21	岐阜県	255	45	宮崎県	77
22	静岡県	755	46	鹿児島県	152
23	愛知県	306	47	沖縄県	331
24	三重県	307		TOTAL	13,154

※上記数値を「都道府県別の宿泊観光旅行の参加者」のサンプル数（n値）として、各種集計を行う。

※今回は新型コロナウイルスの影響により、総旅行回数が大幅に減少しており、サンプル数が100を割るところもあることに注意されたい。

## 【都道府県別集計1】年代構成

都道府県別に宿泊観光旅行参加者の年代構成をみると、30代以下の割合が高いのは大阪府(48.7%)、東京都(48.1%)、福岡県(44.8%)、大分県(44.4%)となっている。30代以下の占める割合の平均は36.5%であり、15都道府県で平均を上回っている。

平均年齢をみると、大阪府が41.6歳と最も若く、次いで東京都(41.9歳)、香川県(44.1歳)となっている。

図表3-2:都道府県別来訪者の年代構成(30代以下の割合が高い順)

n=	%							(%)	(歳)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	30代以下	平均年齢	
TOTAL 13,154	5.8	16.3	14.4	16.7	14.4	16.5	15.9	36.5	47.6
大阪府 573	11.3	20.8	16.6	17.6	14.3	11.2	8.2	48.7	41.6
東京都 826	6.2	28.7	13.2	16.6	15.6	11.6	8.1	48.1	41.9
福岡県 357	6.2	22.4	16.2	14.3	14.8	13.7	12.3	44.8	44.8
大分県 205	7.3	17.1	20.0	12.7	9.3	18.0	15.6	44.4	46.1
茨城県 194	8.8	17.5	17.5	15.5	9.8	11.9	19.1	43.8	46.0
香川県 105		27.6	12.4	20.0	11.4	11.4	13.3	43.8	44.1
宮城県 245	7.3	22.4	11.4	13.5	15.9	15.1	14.3	41.2	45.5
愛知県 306		24.8	12.1	17.3	20.3	10.8	10.5	41.2	44.8
石川県 274		18.2	19.3	15.3	10.9	15.7	17.2	40.9	46.8
千葉県 547	7.1	15.5	18.1	21.2	13.2	11.5	13.3	40.8	45.1
広島県 191	6.8	18.3	15.2	13.6	16.2	16.2	13.6	40.3	45.9
北海道 837	6.5	16.1	17.3	15.3	15.9	14.2	14.7	39.9	46.7
鹿児島県 152		20.4	17.1	14.5	15.1	17.8	13.2	39.5	47.2
山形県 178		21.9	12.4	17.4	11.8	15.7	16.3	38.8	47.3
福島県 288	10.1	16.3	11.5	13.5	11.1	19.4	18.1	37.8	47.7
京都府 521	6.3	15.5	14.2	16.5	13.8	15.7	17.9	36.1	47.9
神奈川県 705		18.6	13.3	17.3	12.8	17.3	16.6	36.0	47.8
福井県 132		12.9	18.2	23.5	12.9	15.9	12.1	35.6	47.2
埼玉県 125	6.4	18.4	10.4	16.8	16.0	9.6	22.4	35.2	48.2
宮崎県 77	9.1	11.7	14.3	15.6	14.3	13.0	22.1	35.1	48.2
岩手県 180		16.1	6.7	12.2	11.7	11.7	22.8	35.0	49.4
栃木県 454	6.4	15.2	12.8	17.0	14.5	17.0	17.2	34.4	48.6
沖縄県 331		12.1	19.0	18.1	18.7	21.8	6.9	34.4	47.2
青森県 168	9.5	13.7	10.7	11.9	11.9	25.0	17.3	33.9	49.4
静岡県 755		12.1	17.9	15.8	14.7	17.4	18.3	33.9	49.4
新潟県 282	5.7	13.5	14.2	20.6	13.5	9.9	22.7	33.3	48.7
富山県 150	6.0	12.0	15.3	14.7	9.3	20.0	22.7	33.3	50.7
滋賀県 129	5.4	12.4	15.5	17.8	9.3	14.7	24.8	33.3	50.4
熊本県 186	7.0	12.4	14.0	13.4	15.6	24.2	13.4	33.3	49.0
和歌山県 231		11.3	16.9	17.3	15.6	16.9	17.3	32.9	49.3
長崎県 172	7.6	14.5	10.5	18.6	11.0	23.3	14.5	32.6	48.4
群馬県 404	6.7	13.1	12.6	15.1	18.8	16.6	17.1	32.4	48.9
岐阜県 255		16.1	12.5	14.5	20.4	16.5	17.3	31.4	49.7
兵庫県 432		14.8	13.2	15.0	13.7	23.1	16.9	31.3	50.4
山梨県 303	5.0	14.5	11.6	24.4	14.2	17.8	12.5	31.0	47.6
愛媛県 100		21.0	8.0	13.0	16.0	30.0	10.0	31.0	49.7
山口県 101		9.9	16.8	16.8	6.9	22.8	22.8	30.7	51.5
秋田県 123	6.5	11.4	10.6	12.2	13.0	25.2	21.1	28.5	51.6
鳥取県 96		13.5	10.4	19.8	8.3	20.8	22.9	28.1	51.3
島根県 98		18.4	7.1	15.3	18.4	20.4	19.4	26.5	51.1
長野県 558		9.1	12.4	19.4	15.1	20.1	19.7	25.8	51.6
奈良県 110		11.8	9.1	16.4	9.1	20.0	29.1	25.5	53.7
三重県 307		10.4	10.1	18.6	17.9	14.3	25.1	24.1	52.7
佐賀県 75		9.3	10.7	33.3	9.3	22.7	10.7	24.0	48.7
徳島県 48		8.3	10.4	10.4	22.9	31.3	14.6	20.8	55.0
高知県 83		9.6	8.4	16.9	21.7	19.3	21.7	20.5	52.9
岡山県 118		6.8	8.5	16.9	16.1	20.3	27.1	19.5	55.5

※5%未満は非表示、30代以下の割合の多い順に掲載

## 【都道府県別集計2】居住地構成

都道府県別に来訪者の居住地構成をみると、大半の訪問地で同エリア内に住んでいる人の割合が高く、特に佐賀県において九州居住者の占める割合が90.7%と高い。次いで、群馬県（85.6%）、栃木県（83.3%）の北関東2県において、関東居住者が80%以上となっている。

図表3-3: 都道府県別来訪者の居住地構成

	TOTAL	居住地								
		北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州
TOTAL	13,154	4.3	5.9	38.2	3.9	13.1	19.3	4.0	2.0	9.2
北海道	837	48.9	3.0	25.8	1.6	7.2	9.9	1.2	0.1	2.4
青森県	168	7.1	48.2	25.0	3.0	6.0	8.9	0.6	0.6	0.6
岩手県	180	1.1	62.8	25.6	1.1	3.9	5.0	0.0	0.0	0.6
宮城県	245	2.0	45.7	34.3	2.0	3.7	10.6	0.4	0.0	1.2
秋田県	123	2.4	48.8	30.1	4.9	4.9	6.5	0.0	0.8	1.6
山形県	178	1.1	44.4	34.8	8.4	4.5	4.5	0.6	0.0	1.7
福島県	288	0.3	40.3	46.9	2.4	3.1	5.6	0.0	0.0	1.4
茨城県	194	1.0	8.8	75.3	2.6	6.7	2.6	0.5	0.0	2.6
栃木県	454	0.7	4.4	83.3	1.5	4.6	4.4	0.4	0.0	0.7
群馬県	404	0.0	0.7	85.6	3.2	4.7	4.2	0.5	0.0	1.0
埼玉県	125	0.8	3.2	74.4	4.8	6.4	4.0	0.0	3.2	3.2
千葉県	547	1.5	1.5	74.0	0.9	11.7	8.0	0.5	0.5	1.3
東京都	826	5.6	5.1	35.1	7.5	12.3	17.9	4.7	1.6	10.2
神奈川県	705	0.9	2.3	78.4	2.4	6.0	7.1	0.7	0.6	1.7
新潟県	282	0.7	4.3	44.7	37.2	5.0	7.4	0.4	0.4	0.0
富山県	150	0.0	0.7	32.7	8.7	44.7	11.3	0.0	0.0	2.0
石川県	274	0.0	1.8	27.7	4.0	37.2	24.5	1.8	0.4	2.6
福井県	132	0.8	0.0	13.6	0.8	45.5	37.9	0.8	0.0	0.8
山梨県	303	1.7	0.3	65.0	12.2	11.9	7.3	0.7	0.3	0.7
長野県	558	0.2	1.3	48.0	14.9	20.6	13.8	0.4	0.4	0.5
岐阜県	255	0.0	0.4	18.4	4.3	50.2	24.7	0.8	0.0	1.2
静岡県	755	0.1	0.8	58.4	4.1	31.1	4.2	0.1	0.5	0.5
愛知県	306	1.3	1.0	26.8	2.6	41.8	19.0	3.3	0.0	4.2
三重県	307	1.0	1.0	10.4	2.0	25.4	57.7	1.0	0.7	1.0
滋賀県	129	0.0	0.0	11.6	0.8	13.2	71.3	0.8	0.8	1.6
京都府	521	1.0	1.9	28.4	1.7	15.9	41.3	3.6	2.5	3.6
大阪府	573	3.1	1.6	29.0	1.2	13.6	32.8	7.7	4.5	6.5
兵庫県	432	0.2	0.9	8.8	0.0	8.3	69.4	4.4	5.1	2.8
奈良県	110	0.0	0.0	16.4	0.0	19.1	53.6	1.8	4.5	4.5
和歌山県	231	0.4	0.0	10.8	0.4	10.0	74.0	0.4	2.6	1.3
鳥取県	96	0.0	0.0	9.4	0.0	6.3	40.6	38.5	4.2	1.0
島根県	98	2.0	1.0	18.4	2.0	6.1	23.5	36.7	0.0	10.2
岡山県	118	0.8	0.8	8.5	0.8	5.9	37.3	37.3	7.6	0.8
広島県	191	1.0	1.6	17.3	2.6	5.2	20.9	31.9	8.9	10.5
山口県	101	0.0	0.0	12.9	0.0	5.9	12.9	48.5	2.0	17.8
徳島県	48	0.0	2.1	20.8	0.0	8.3	39.6	10.4	14.6	4.2
香川県	105	1.9	0.0	13.3	1.0	6.7	35.2	11.4	26.7	3.8
愛媛県	100	1.0	0.0	15.0	1.0	6.0	22.0	17.0	31.0	7.0
高知県	83	0.0	0.0	13.3	0.0	6.0	36.1	9.6	28.9	6.0
福岡県	357	2.0	0.6	21.8	0.3	5.0	10.9	7.0	1.4	51.0
佐賀県	75	0.0	0.0	5.3	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	90.7
長崎県	172	0.0	1.2	12.2	0.0	1.7	14.5	4.7	0.6	65.1
熊本県	186	2.7	0.0	8.6	0.5	1.6	3.8	2.7	1.1	79.0
大分県	205	0.0	0.0	7.8	0.0	2.0	7.8	3.9	3.9	74.6
宮崎県	77	0.0	1.3	13.0	1.3	1.3	14.3	5.2	0.0	63.6
鹿児島県	152	0.7	2.0	15.8	1.3	2.6	18.4	2.6	0.0	56.6
沖縄県	331	1.8	1.2	39.6	1.8	8.2	20.2	5.1	1.5	20.5

※訪問地毎に、最も訪問率の高い居住地を■、最も訪問率の低い居住地を■

## 【都道府県別集計3】 来訪回数

来訪回数をみると、2回以上の来訪の割合が最も高い（リピーター率が高い）のは京都府で84.5%。次いで神奈川県（81.0%）、宮崎県（79.2%）となっている。

5回以上来訪した割合をみると、京都府が52.8%で最も多く、次いで大阪府が51.8%と、関西2府がともに50%以上で上位を占めている。

図表3-4: 都道府県別来訪回数(リピーター率が高い順)

n=	(% )					初めての来訪	2回以上来訪
	初めて	2~3回	4~5回	5回以上	おぼえていない		
TOTAL 13,154	22.4	25.2	9.4	37.8	5.2	22.4	72.4
京都府 521	12.1	22.5	9.2	52.8		12.1	84.5
神奈川県 705	14.6	21.4	12.8	46.8		14.6	81.0
宮崎県 77	18.2	24.7	13.0	41.6		18.2	79.2
長野県 558	18.3	30.8	12.5	35.5		18.3	78.9
北海道 837	18.4	21.4	9.7	47.1		18.4	78.1
熊本県 186	17.2	33.9	13.4	30.6		17.2	78.0
大阪府 573	16.4	18.2	7.0	51.8	6.6	16.4	77.0
長崎県 172	20.9	35.5	10.5	30.8		20.9	76.7
静岡県 755	19.1	26.5	9.3	40.5		19.1	76.3
千葉県 547	19.4	19.7	7.3	49.2		19.4	76.2
福岡県 357	17.9	25.5	7.8	42.3	6.4	17.9	75.6
東京都 826	17.3	22.0	6.1	47.1	7.5	17.3	75.2
大分県 205	21.5	26.3	8.8	39.5		21.5	74.6
岐阜県 255	22.0	27.8	14.1	32.2		22.0	74.1
宮城県 245	20.8	25.3	12.7	35.9	5.3	20.8	73.9
栃木県 454	20.7	29.1	13.0	31.3	5.9	20.7	73.3
和歌山県 231	26.0	22.1	10.8	39.8		26.0	72.7
山梨県 303	23.8	27.4	7.6	37.6		23.8	72.6
岡山県 118	22.9	22.9	13.6	35.6	5.1	22.9	72.0
佐賀県 75	22.7	28.0		40.0	5.3	22.7	72.0
沖縄県 331	22.7	24.8	6.3	40.8	5.4	22.7	71.9
兵庫県 432	23.4	28.2	7.4	35.6	5.3	23.4	71.3
三重県 307	25.4	24.4	13.0	33.6		25.4	71.0
新潟県 282	26.2	25.5	10.3	34.8		26.2	70.6
愛知県 306	24.2	31.7	9.8	28.4	5.9	24.2	69.9
福井県 132	27.3	34.1	9.8	25.8		27.3	69.7
岩手県 180	24.4	24.4	7.2	37.8	6.1	24.4	69.4
群馬県 404	26.2	25.5	8.7	34.4	5.2	26.2	68.6
福島県 288	24.0	27.4	13.9	26.7	8.0	24.0	68.1
奈良県 110	26.4	26.4	14.5	26.4	6.4	26.4	67.3
愛媛県 100	28.0	19.0	6.0	42.0	5.0	28.0	67.0
青森県 168	29.2	19.6	9.5	36.9		29.2	66.1
秋田県 123	31.7	17.9	8.9	38.2		31.7	65.0
鳥取県 96	33.3		36.5	26.0		33.3	64.6
山口県 101	29.7	22.8	8.9	32.7	5.9	29.7	64.4
山形県 178	33.1	19.7	11.8	32.6		33.1	64.0
高知県 83	34.9		37.3	7.2	19.3	34.9	63.9
石川県 274	33.9		28.1	9.9	25.2	33.9	63.1
埼玉県 125	32.0		31.2	6.4	24.8	32.0	62.4
広島県 191	31.9		23.6	7.9	30.9	31.9	62.3
島根県 98	34.7		35.7	6.1	20.4	34.7	62.2
鹿児島県 152	28.3	26.3	5.9	28.9	10.5	28.3	61.2
富山県 150	36.0		34.0	8.0	15.3	36.0	57.3
茨城県 194	37.1		28.4	9.3	19.6	37.1	57.2
香川県 105	38.1		30.5	6.7	19.0	38.1	56.2
滋賀県 129	39.5		27.1	8.5	18.6	39.5	54.3
徳島県 48	45.8		31.3		20.8	45.8	52.1

※5%未満は非表示、2回以上の来訪が多い順に掲載

## 【都道府県別集計4】旅行行動

旅行行動をみると、「自然の風景をみる」の割合が最も高い訪問地が多く、特に徳島県(77.1%)、高知県(73.5%)、鳥取県(72.9%)、宮崎県(70.1%)では7割以上となっている。「温泉浴」については、多くの温泉地を有している大分県(73.2%)、群馬県(64.6%)でその割合が高く、「名所・旧跡をみる」の割合は京都府(60.3%)、奈良県(58.2%)で高い。一方、東京都では「演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞・見物」(31.1%)、千葉県と大阪府では「レジャーランド・テーマパーク」(それぞれ43.5%、28.6%)が1位となっており、他の訪問地とは異なる傾向をみせている。

図表3-5:都道府県別宿泊観光旅行での行動

		(%)											
n=		自然の風景をみる	温泉浴	名所・旧跡をみる	食特産品の買物・飲	神仏詣	資料館・美術館の見物	動物園・植物園・水族	ドライブ	季節の花見	レジャーランド・テーマパーク	演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞・見物	都会見物
TOTAL	13,154	51.2	41.6	29.2	18.1	12.3	11.0	10.8	10.7	10.2	8.8	7.9	
北海道	837	58.4	46.8	23.3	19.5	6.2	13.1	13.6	11.2	5.7	7.4	7.9	
青森県	168	60.7	53.6	31.0	14.9	9.5	11.9	14.3	16.1	6.0	6.0	6.0	
岩手県	180	64.4	58.3	28.9	17.8	10.0	3.9	10.6	12.2	2.8	1.1	5.6	
宮城県	245	46.9	45.3	26.5	20.4	8.6	7.8	8.6	8.6	4.5	13.1	10.2	
秋田県	123	67.5	50.4	30.1	17.1	8.9	21.1	19.5	21.1	5.7	8.1	5.7	
山形県	178	58.4	55.1	29.8	16.9	17.4	14.0	10.7	11.8	1.1	7.3	5.1	
福島県	288	50.7	49.7	31.6	13.9	6.3	9.7	10.1	14.6	8.0	5.2	2.4	
茨城県	194	59.8	36.6	28.4	18.6	8.8	13.4	16.5	13.9	6.7	6.2	6.2	
栃木県	454	62.1	59.9	29.7	21.8	15.6	10.4	13.0	13.4	11.5	6.6	2.6	
群馬県	404	59.4	64.6	24.3	15.6	8.9	6.9	13.1	13.6	6.4	3.7	2.7	
埼玉県	125	42.4	35.2	16.8	12.8	11.2	6.4	7.2	12.0	8.0	18.4	4.0	
千葉県	547	32.7	25.2	10.4	12.6	5.1	5.1	6.4	6.8	43.5	4.4	3.7	
東京都	826	17.8	9.4	16.6	9.4	8.2	9.8	3.4	5.0	10.7	31.1	24.5	
神奈川県	705	54.5	52.6	25.5	17.2	10.4	14.0	10.5	12.5	7.9	7.5	10.9	
新潟県	282	55.0	57.4	20.9	18.8	9.2	7.1	8.9	9.9	3.2	3.9	2.1	
富山県	150	62.7	52.7	37.3	22.0	10.0	19.3	10.7	15.3	5.3	7.3	6.0	
石川県	274	55.5	50.0	48.2	24.5	13.9	21.5	12.8	10.6	3.6	8.0	9.1	
福井県	132	56.1	47.0	34.8	18.2	14.4	17.4	10.6	9.8	7.6	9.8	5.3	
山梨県	303	62.0	46.5	23.4	16.2	10.9	5.6	16.2	12.5	8.6	4.3	3.0	
長野県	558	62.4	51.1	28.0	17.4	13.3	6.8	15.2	10.2	4.1	3.6	2.2	
岐阜県	255	60.0	60.4	36.1	18.8	9.4	7.1	9.0	9.0	6.3	3.1	0.8	
静岡県	755	58.1	56.8	26.1	19.2	8.6	12.6	14.6	15.2	9.0	4.1	2.1	
愛知県	306	35.0	23.2	28.4	19.0	12.1	12.7	5.2	5.9	11.4	16.3	11.4	
三重県	307	55.7	45.3	38.1	19.2	32.2	14.3	9.8	12.7	15.6	2.6	2.0	
滋賀県	129	51.9	34.1	37.2	14.7	11.6	12.4	8.5	11.6	4.7	3.9	3.9	
京都府	521	56.2	17.9	60.3	17.3	43.6	11.5	5.8	20.0	3.3	4.8	11.1	
大阪府	573	19.9	18.3	18.5	14.8	7.2	6.5	3.3	5.9	28.6	19.2	18.3	
兵庫県	432	44.7	48.8	24.3	20.4	8.3	9.3	9.7	9.0	10.2	11.3	7.4	
奈良県	110	53.6	18.2	58.2	10.0	37.3	7.3	9.1	11.8	5.5	4.5	2.7	
和歌山県	231	58.9	56.7	28.6	14.7	18.6	16.0	13.9	13.0	16.5	4.3	3.5	
鳥取県	96	72.9	47.9	47.9	26.0	12.5	13.5	16.7	6.3	6.3	4.2	2.1	
島根県	98	57.1	44.9	50.0	26.5	35.7	14.3	15.3	12.2	7.1	4.1	5.1	
岡山県	118	44.9	32.2	38.1	27.1	13.6	11.0	11.0	4.2	11.0	5.1	11.0	
広島県	191	56.0	19.9	51.3	18.8	13.1	12.0	8.4	9.4	5.8	19.9	15.7	
山口県	101	69.3	48.5	45.5	18.8	14.9	12.9	9.9	9.9	7.9	2.0	5.0	
徳島県	48	77.1	25.0	37.5	12.5	25.0	12.5	14.6	2.1	0.0	4.2	2.1	
香川県	105	59.0	37.1	40.0	23.8	14.3	19.0	10.5	5.7	9.5	5.7	3.8	
愛媛県	100	45.0	42.0	40.0	28.0	19.0	6.0	14.0	6.0	4.0	10.0	7.0	
高知県	83	73.5	28.9	48.2	31.3	16.9	16.9	24.1	8.4	2.4	3.6	7.2	
福岡県	357	37.3	28.0	26.1	24.4	10.4	9.0	9.0	8.1	5.6	18.8	17.4	
佐賀県	75	41.3	54.7	24.0	12.0	8.0	5.3	12.0	10.7	6.7	12.0	2.7	
長崎県	172	54.1	40.1	32.0	20.9	5.8	14.5	6.4	8.7	31.4	4.7	11.0	
熊本県	186	67.2	57.0	26.9	25.8	9.1	10.8	16.7	9.1	5.9	7.5	7.0	
大分県	205	58.0	73.2	31.2	18.5	6.3	11.7	11.2	7.8	14.6	5.4	3.4	
宮崎県	77	70.1	41.6	39.0	20.8	15.6	6.5	18.2	13.0	3.9	2.6	6.5	
鹿児島県	152	57.9	57.2	37.5	25.7	20.4	19.1	17.8	13.2	7.2	5.3	12.5	
沖縄県	331	66.5	15.4	31.4	25.4	5.7	14.5	17.2	6.9	6.9	5.1	7.9	

※■:1位 ■:2位 ■:3位 ■:4位 ■:5位

## 【都道府県別集計5】旅行費用

旅行費用をみると、旅行費用の総額では、沖縄県が109,986円で最も高く、次いで北海道(66,578円)、鹿児島県(64,272円)となっている。

旅行先での「宿泊費」が高いのは、沖縄県(37,195円)、三重県(28,673円)、岡山県(28,078円)である。「土産代」は沖縄県(11,895円)、青森県(8,572円)、島根県(7,948円)が高く、「観光行動費」は沖縄県(18,157円)、千葉県(18,097円)、大阪府(16,711円)が高い。沖縄県はすべての費用において、最も高くなっている。また、「観光行動費」は「レジャーランド・テーマパーク」利用の多い、千葉県と大阪府で高くなっている。

図表3-6:都道府県別宿泊観光旅行での費用

	総額 n=	旅行費用(平均額)					
		総額	団体旅行除く n=	団体旅行除く			
				宿泊費	交通費	土産代	観光行動費
TOTAL	13,154	49,555	12,177	23,477	12,072	6,211	11,465
北海道	837	66,578	731	26,730	20,126	7,493	13,538
青森県	168	58,203	145	23,614	20,352	8,572	12,412
岩手県	180	44,185	167	17,945	11,440	7,142	14,188
宮城県	245	44,014	222	18,101	13,794	7,271	11,497
秋田県	123	46,203	105	18,343	12,118	7,629	11,775
山形県	178	54,373	153	24,786	8,577	5,826	8,654
福島県	288	37,334	253	19,622	9,261	5,395	8,469
茨城県	194	31,840	171	17,014	7,225	5,237	7,417
栃木県	454	47,039	424	26,226	8,267	5,422	9,484
群馬県	404	40,506	378	23,664	7,809	4,729	8,121
埼玉県	125	32,229	110	15,586	8,464	5,068	8,650
千葉県	547	58,541	526	27,302	10,094	7,402	18,097
東京都	826	52,294	761	20,690	17,284	7,367	14,466
神奈川県	705	44,692	673	24,880	8,337	5,271	10,443
新潟県	282	41,952	266	20,804	10,017	4,528	11,375
富山県	150	48,972	131	24,319	12,719	5,736	8,590
石川県	274	50,453	246	24,538	13,296	5,959	10,415
福井県	132	41,750	115	25,063	8,369	5,641	9,009
山梨県	303	38,156	281	21,796	8,044	6,144	9,328
長野県	558	45,454	523	24,468	9,580	5,080	10,951
岐阜県	255	40,510	240	22,165	8,511	5,034	8,270
静岡県	755	44,314	728	25,885	7,783	5,675	8,277
愛知県	306	36,988	287	16,041	10,205	5,694	10,597
三重県	307	51,366	290	28,673	8,633	6,516	11,089
滋賀県	129	42,623	123	23,919	8,040	4,235	8,955
京都府	521	54,396	496	23,519	15,391	6,428	13,421
大阪府	573	49,159	539	20,624	13,415	6,975	16,711
兵庫県	432	45,593	414	25,381	8,948	5,721	8,918
奈良県	110	39,984	105	20,901	9,740	4,164	9,155
和歌山県	231	40,956	212	21,142	8,265	5,571	10,428
鳥取県	96	46,049	88	24,421	10,268	4,925	8,055
島根県	98	51,136	89	23,479	15,469	7,948	11,858
岡山県	118	49,974	107	28,078	9,641	6,405	9,891
広島県	191	54,209	179	21,714	17,972	7,351	12,404
山口県	101	47,028	91	24,201	13,174	5,795	9,455
徳島県	48	47,096	41	21,029	13,314	7,837	6,539
香川県	105	50,758	100	26,534	12,404	6,918	10,575
愛媛県	100	44,748	98	24,120	14,153	7,304	9,919
高知県	83	49,263	77	21,918	15,707	5,283	12,318
福岡県	357	42,364	339	13,812	14,232	5,866	11,710
佐賀県	75	36,472	69	19,827	6,913	4,536	8,639
長崎県	172	51,621	150	25,121	12,640	5,832	10,109
熊本県	186	43,129	173	20,730	9,983	5,645	10,850
大分県	205	52,897	194	25,836	10,242	4,497	8,929
宮崎県	77	52,597	72	20,395	13,975	4,161	7,042
鹿児島県	152	64,272	137	23,360	14,851	7,469	12,272
沖縄県	331	109,986	297	37,195	35,169	11,895	18,157

※上位3地域を赤字

## 【都道府県別集計6】満足度

満足度をみると、満足した割合（「大変満足した」、「満足した」、「まあ満足した」割合の合計値）が最も高いのは宮崎県で98.7%であった。次いで和歌山県(97.8%)、山口県(97.0%)となっている。

「大変満足した」割合が高いのは、高知県(43.4%)、島根県(42.9%)、熊本県(42.5%)の順となっている。

図表3-7: 都道府県別宿泊観光旅行の満足度(満足した割合が高い順)

n=	%						%		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大変満足した割合	満足した割合	
TOTAL	13,154	35.4		37.7		20.4	5.2	35.4	93.6
宮崎県	77	35.1		40.3		23.4		35.1	98.7
和歌山県	231	32.9		45.0		19.9		32.9	97.8
山口県	101	38.6		36.6		21.8		38.6	97.0
島根県	98	42.9		32.7		21.4		42.9	96.9
山梨県	303	30.4		45.2		21.1		30.4	96.7
長崎県	172	39.0		33.1		24.4		39.0	96.5
岐阜県	255	28.2		49.4		18.8		28.2	96.5
徳島県	48	41.7		33.3		20.8		41.7	95.8
岩手県	180	33.9		47.2		14.4		33.9	95.6
栃木県	454	37.4		35.9		22.0		37.4	95.4
石川県	274	30.3		39.8		25.2		30.3	95.3
群馬県	404	29.0		43.6		22.8		29.0	95.3
長野県	558	36.6		42.8		15.8		36.6	95.2
千葉県	547	42.4		31.4		21.2		42.4	95.1
岡山県	118	28.8		38.1		28.0		28.8	94.9
三重県	307	37.5		40.4		16.9		37.5	94.8
大分県	205	41.0		35.1		18.5		41.0	94.6
青森県	168	30.4		39.3		25.0		30.4	94.6
山形県	178	37.1		39.3		18.0	5.1	37.1	94.4
兵庫県	432	29.9		41.0		23.6		29.9	94.4
香川県	105	39.0		29.5		25.7		39.0	94.3
北海道	837	38.5		34.8		21.0		38.5	94.3
熊本県	186	42.5		33.3		18.3	5.9	42.5	94.1
京都府	521	42.2		38.4		13.4	5.4	42.2	94.0
富山県	150	32.7		38.0		23.3	5.3	32.7	94.0
福井県	132	34.1		36.4		23.5		34.1	93.9
神奈川県	705	29.6		42.0		22.3	5.5	29.6	93.9
鳥取県	96	34.4		44.8		14.6		34.4	93.8
奈良県	110	30.9		40.9		21.8	5.5	30.9	93.6
埼玉県	125	28.8		39.2		25.6	5.6	28.8	93.6
静岡県	755	33.2		40.1		20.1		33.2	93.5
沖縄県	331	39.0		36.0		18.4	6.3	39.0	93.4
東京都	826	40.9		34.1		17.9	6.1	40.9	93.0
愛媛県	100	27.0		47.0		19.0	6.0	27.0	93.0
福島県	288	31.9		39.9		20.8		31.9	92.7
広島県	191	30.9		44.5		17.3	6.3	30.9	92.7
新潟県	282	41.8		36.5		13.8	5.7	41.8	92.2
宮城県	245	31.4		40.8		20.0	7.3	31.4	92.2
鹿児島県	152	37.5		30.9		23.7	6.6	37.5	92.1
大阪府	573	38.2		31.9		21.6	7.3	38.2	91.8
愛知県	306	34.3		34.6		22.5	7.5	34.3	91.5
滋賀県	129	27.1		37.2		26.4	8.5	27.1	90.7
福岡県	357	34.7		32.5		22.7	7.8	34.7	89.9
秋田県	123	30.9		35.0		22.8	9.8	30.9	88.6
佐賀県	75	40.0		18.7		29.3	9.3	40.0	88.0
茨城県	194	33.0		29.4		24.2	10.8	33.0	86.6
高知県	83	43.4		28.9		13.3	13.3	43.4	85.5

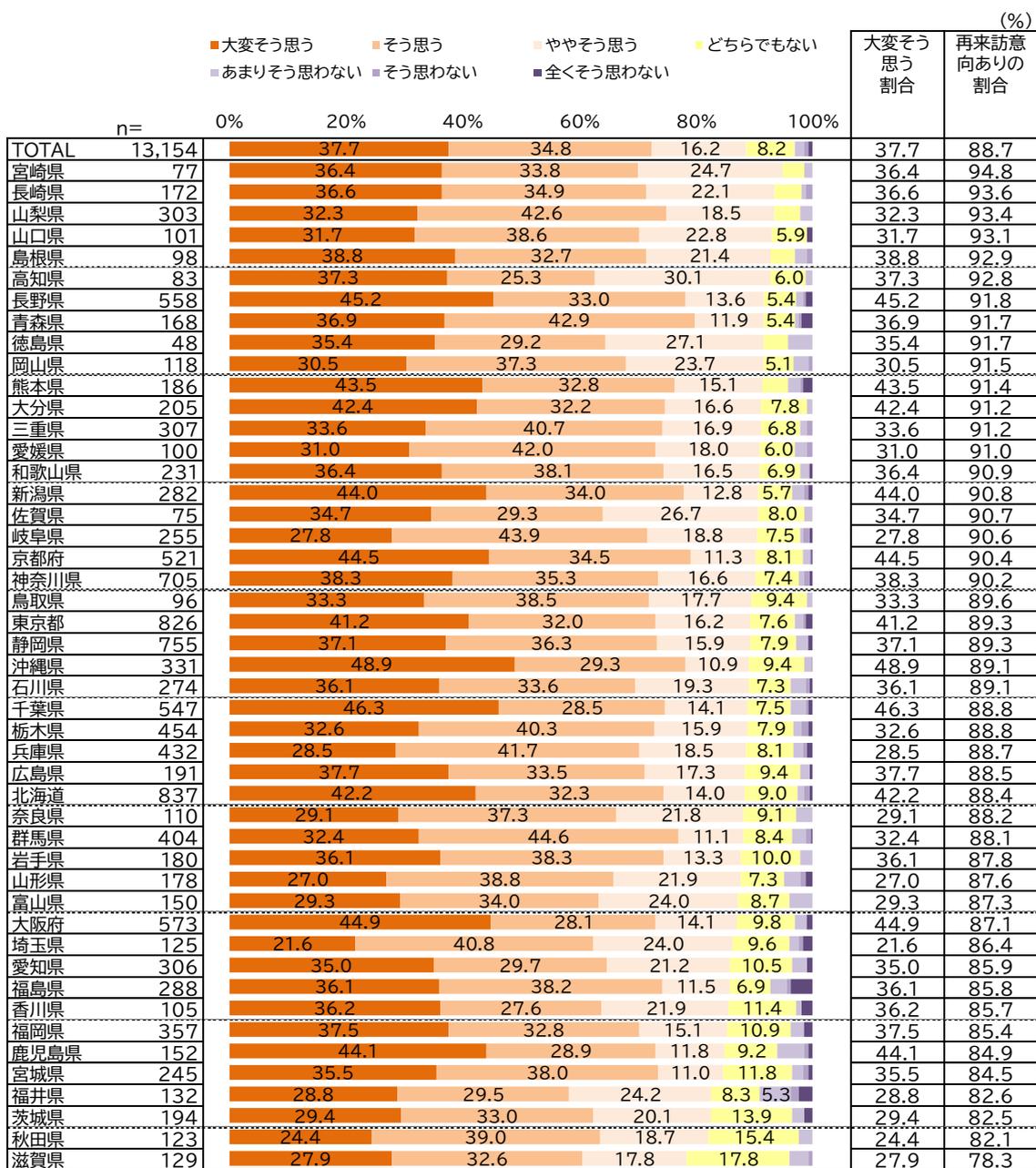
※5%未満は非表示、満足した割合が高い順に掲載

## 【都道府県別集計7】再来訪意向

再来訪意向をみると、再来訪意向ありの割合（「大変そう思う」、「そう思う」、「ややそう思う」の割合の合計値）が最も高いのは宮崎県で94.8%、次いで長崎県（93.6%）、山梨県（93.4%）となっている。

「大変そう思う」割合は、沖縄県が48.9%と最も高く、次いで千葉県（46.3%）、長野県（45.2%）の順となっている。

図表3-8: 都道府県別再来訪意向(再来訪意向ありの割合が高い順)



※5%未満は非表示、再来訪意向ありの割合が高い順に掲載

## 4. 調査結果概要

表 1. 過去 1 年間の実態 — 宿泊観光旅行

項目	宿泊観光旅行の実態	
1) 参加率	28.6%	
2) 参加回数		
全体平均	0.70回	
参加者平均	2.46回	
3) 実施月	3月が 12.5%でピーク	
4) 目的地	県内	22.6%
	県外	76.9%
5) 出発した日	平日	38.3%
	土・日・祝	35.6%
6) 行動 (複数回答)	①自然の風景をみる	51.2%
	②温泉浴	41.6%
	③名所・旧跡をみる	29.2%
7) 主な行動	①温泉浴	25.1%
	②自然の風景をみる	16.0%
	③名所・旧跡をみる	10.3%
8) 同行者	①家族	55.8%
	②友人・知人	20.9%
	③自分ひとり	17.1%
9) 同行人数	①2～3人	60.5%
	②1人	17.7%
	②4～5人	15.7%
10) 利用交通機関 (複数回答)	①自家用車	52.3%
	②JR鉄道	33.4%
	③私鉄	14.6%
	④飛行機	10.9%
	⑤路線バス	10.6%
11) 宿泊施設	①ホテル	63.8%
	②旅館	22.8%
12) 宿泊数	平均 1.55泊	
13) 旅行費用		
総費用	49,560円	
宿泊費	23,480円 注) 旅行会社の募集团体	
交通費	12,070円 及び「職場、学校」	
土産の費用	6,210円 「地域宗教」の団体	
観光行動費	11,470円 を除く	

表 2. 過去 1 年間の宿泊旅行の実態

旅行の種類	参加率	参加回数 (全体平均)	参加回数 (参加者平均)
全体	37.5%	1.28回	3.41回
観光旅行	28.6%	0.70回	2.46回
出張などの商用	4.7%	0.20回	4.23回
帰省などの私用	10.2%	0.29回	2.82回
兼観光旅行	4.4%	0.09回	2.11回

表 3. 今後 1 年間の宿泊観光旅行の希望

1) 参加希望率	58.7%
2) 参加希望回数	2.33回
3) 希望季節	秋 32.9%、 夏 27.8%
4) 希望宿泊数	2.05泊
5) 希望費用	総費用 45,020円 1泊あたり宿泊費 11,330円
6) 希望する旅行の種類	①温泉を楽しむ 44.3% ②食を楽しむ 26.1% ③寺社仏閣を楽しむ 22.7% ④季節の花々を楽しむ 21.8% ⑤リゾートライフを楽しむ 19.4%